

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2024年
年報号

64

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

巻頭言：下川澄雄

退職にあたって

—「つくる」から賢く「つかう」みちへ—

Contents

- 2 巻頭言：下川澄雄
- 3 令和6年度 研究室紹介
- 6 TOPICS 新任教員の紹介
- 7 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 8 令和5年度 修士論文・卒業研究
- 12 令和5年度 教員の研究・活動
(2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31)
- 31 令和5年度 学生の受賞等
(2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31)
- 32 教室の動き
- 35 令和5年度 就職状況
- 36 COLUMN
- 36 編集後記

表紙写真は、交通システム工学科写真コンテストの写真です。
撮影者：大村陽輝さん



巻頭言 退職にあたって「つくる」から賢く「つかう」みちへー

教授 下川 澄雄

1. はじめに

1984年3月に日本大学大学院理工学研究科交通土木工学専攻を修了し、気が付けば40年経ってしまいました。その間、JICEで28年（静岡県1年含む）、交通システム工学科で12年勤務し、一貫して道路計画に関わる仕事に携わらせていただきました。道路は「つくる」から賢く「つかう」時代が変わろうとしています。振り返ってみれば、その転換点のなか、最前線で仕事をしていただくと実感しています。高速道路を素材としながら大学時代を含めて四十数年間をお付き合いください。

2. 日本の道路整備の変遷

(1) 学生時代

大学院を修了した1984年、高速自動車国道の供用延長は3,000 km 余りで、一般道路の利用が前提の時代でした。この頃、スキーバスツアーが若者のトレンドでした。当時は苗場など上越方面によく行っていた記憶がありますが、関越道が前橋までだったので、そこから一般道路へ。夜、新宿駅西口を出発して朝早くスキー場着。滑らかに走る高速道路のすばらしさを感じていました。

(2) JICE での出来事

調査第2部という道路交通を扱う部署に配属されました。JICEに28年もいたのでいろいろな仕事をしましたが、なかでも思い出に残る内容を三つほど。

一つ目は、新東名・名神の計画です。高規格幹線道路計画14,000 kmは1987年に閣議決定（それまでは7,600 km）されました。そのなかで、最重要路線の新東名・名神の計画を担当しました。今では当たり前ですが、当時は高速道路の渋滞発生メカニズムはもとより、渋滞がサグなどで発生することも解明されていない状況のなか、別線として新東名・名神を整備する意義や（今となっては残念ですが）設計速度を140 km/hとする根拠などについて検討しました。この頃になると、高速自動車国道の供用延長は毎年200 km を超え、1991年には5,000 km を突破しました。

二つ目は、静岡県庁の職員のとこのことです。私は1995年に静岡県に着任しましたが、新東名の静岡県区間の環境アセスメントが終了したときでした。新東名・名神には何となく縁を感じました。静岡県庁でもいろいろな仕事をしましたが、着任前の1月に阪神淡路大震災が発生しました。これを受けて、県内の緊急輸送道路の全面見直しを行い、6月の県議会に提出したのが私の最初の仕事でした。多岐にわたる仕事を担当し、多くの人と知り合い、今でも助けていただいています。

三つ目はITSです。2000年頃に華々しく始まり、9の開発分野と21の利用者サービスを提示して研究開発が進められまし

た。VICSやETCはその典型ですが、これに合わせて皆さんお馴染みのドライビングシミュレータや交通シミュレータも評価ツールとして開発が盛んになり、実務展開の先駆けとなりました。ただし、AHS (Advanced Cruise-Assist Highway Systems) に幕を引く役割をしたのが残念でした。今から思えば时期的に早すぎたのかもしれませんが、センシング技術などその頃の要素技術の開発は、今の自動運転技術など道路交通に関わる広い裾野で活かされているように思っています。

(3) 大学での教員生活

2012年に教員として着任しました。新東名の御殿場～三ヶ日間が開通した年です。早速4月早々に東名から新東名を一周しました。計画決定から25年、ようやくという思いがひとしおでした。この当時、高速自動車国道の供用延長は8,500 km（計画延長の75%）まで手の届くところまで整備されました。

一方で、JICEに在籍の当時から思っていたことがありました。それは現在の道路構造令では種級区分によって道路の格が決定されるはずなのですが、サービスの質（目標）を保障できる仕組みになっていないということです。安全は前提条件、環境は制約条件とすれば、例えば幹線道路では、一定区間において必要とする旅行時間や旅行速度を保障することがサービス目標となるはずですが、我々はそのことにしっかり向き合っていなかったように感じていました。

そこで、着任後は道路の運用段階において、道路の機能に応じたサービスを提供するための方法論を検討することを柱として研究を進めてきました。そこには道路の交通容量や制御方式なども含まれます。このところ、その成果が学協会などにも取り上げられるようになり、「継続は力なり」を実感しています。

3. おわりに

社会人となり四十数年間、前半は道路をつくること、後半は道路をつかうことに一所懸命取り組んできました。これまでの経験を通じて改めて感じることは、「つくる」から「つかう」時代のなかで、日本の道路のサービスの質は欧米と比べてまだまだ低く、質の高い道路は量的にも十分に整っていないということです。そのためには、道路をより賢くつかうための処方箋を大学・役所・民間が協働しながら作成し、実際に展開していく必要があります。道路の計画設計者として皆さんの力に期待しています。

最後に、これまで多くの方々と出会い、いろいろな仕事をし、プライベートな時間を持てたことに感謝いたします。これからも皆さんとどこかでお会いし、いろいろな話ができることを楽しみにしています。ありがとうございました。

令和6年度 研究室紹介

745A号室

移動空間デザイン 研究室

江守 央 教授



だれでも安全に快適な歩行空間を活用できるように、さまざまなICT技術を用いて移動するまちの実現を目指す研究を行います。特に、誰でも利用が可能な衛星測位システム(GNSS)、レーザ計測技術、写真計測技術(SfM)と、オープンデータの活用を行って位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行います。これにより、高齢者など移動に様々な理由で困難を抱える方への移動支援を検討するほか、これから社会実装されると予想されている自動配送ロボットなどの小型端末の移動を確保するための情報提供への応用を目指しています。

令和5年度までは「空間情報研究室」で、大学院生4名、



低価格GNSS移動端末の挙動計測実験機器 いすみ鉄道国吉駅のSfMで作成した3Dモデル

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授

吉岡慶祐 准教授



当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。

キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルリズム」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。'まち'は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルリズムとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。インターモーダルリズムの確立を目指し、交通まちづくりを実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。加えて、交通現象の理論



秋田県で導入を進めている自動運転車両 研究室旅行での空港見学

卒研究生17名、ゼミナール生15名の総勢36名の学生が在籍し活動をしました。

●卒業・修士研究テーマ

- ① 低価格GNSS測位の精度検証
- ② 低価格GNSS測位を用いた各種交通モードの移動特性の研究
- ③ モバイル搭載端末LiDAR計測の精度検証
- ④ SfMを用いた地方鉄道駅舎空間のモデル化に関する研究
- ⑤ VRとHMDによる仮想空間内での歩行者サイン視認実験
- ⑥ 駅周辺地区の新たな交通モードの提案と街路デザイン

●ゼミナール・テーマ

GNSS、交通バリアフリーについて専門書の輪講を行います。また、VR等の空間情報技術を用いたワークショップ、当事者参加のワークショップなどを実践するなど専門の人材育成を目指します。



移動円滑化ワークショップの様子

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。まちやひと、社会貢献に興味のある方を歓迎します。

744号室

や調査・分析をベースとした道路の計画・設計に関する研究も行っています。

●卒業研究テーマ

- ・空飛ぶクルマやVTOLの社会受容性、日本での市場把握に関する研究
- ・公共交通（航空、鉄道、バスなど）の交通行動分析
- ・マーケティング施策による公共交通活性化分析
- ・地方ローカル線(いすみ鉄道等)を活かした地域交通計画
- ・自動運転車両の公共交通への導入検討
- ・海浜公園での人流データを用いた行動把握調査
- ・交差点の計画・運用に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・地方創生政策アイデアコンテストに応募
- ・交通計画分野に関する文献レビュー（英論文含む）
- ・就活に向けた実力アップ（SPI、TOEICなど試験対策）

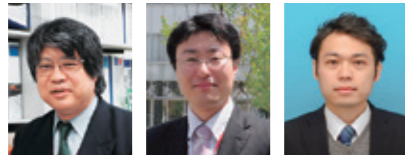
●卒業研究、ゼミナール着手条件

原則として「交通需要予測」「空港・港湾工学」「交通事業論」を履修すること。TOP資格を取得。

これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページを参照してください。(pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp)

交通システム 研究室

福田 敦 教授
石坂哲宏 教授
菊池浩紀 助教



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチから取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。例えば、交通安全対策の実施による交通事故の削減、都市鉄道や新幹線などの軌道系交通機関の導入、公共交通軸を中心としたコンパクトな都市形態の実現、都市災害に対する適応策の導入などが、CO₂排出量の削減や経済効果の増減にどの程度寄与するか検証しています。また、車両に搭載されているプローブ情報システムやカーナビなどから移動体情報を取得することで交通状態を推計する手法の開発を行っています。これらのデータに基づいてマイクロ交通流シミュレーションモデルを構築しており、例えば、交通情報を提供することでマルチモーダルを推進する方法など、さまざまな施策の評価に適用しています。

これらのモデルやシステムの構築は、各国の大学あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では、タイのカセサート大学、ウボンラチャタニ大学、インドのインド工科大学ハイデラバード校、フィリピンのデ・ラサ

ール大学、ザビエル大学、オーストリアのウィーン工科大学などと共同で研究を進めています。また、卒研究生や大学院生が現地の学生と協働で、研究ミーティングの実施や調査なども行っています。

●卒業研究テーマ（一部）

- ・都市鉄道事業における運営方法の分析
- ・日本・タイの小学校における交通安全教育の実態分析
- ・X-minute city の概念に基づいた都市政策の実態分析
- ・日本・タイにおけるスマートシティの体系的整理と分析
- ・次世代自動車に対する認知度と購入意欲に関する分析
- ・深層学習と交通ビッグデータによる交通状態推定
- ・シミュレーションに基づく交通マネジメント施策の評価
- ・画像処理による交通流の安全性・円滑性評価

●ゼミナール・テーマ

小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査等を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的手法・シミュレーションモデルを活用した計画案の分析方法を学習する。グループワークでは、交通問題の解決に向けた議論を行い、交通需要予測やマイクロ交通シミュレーションのソフトウェアを用いて発表および講評会を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決にかかわる職業に就くことを希望している学生。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、プログラミング、情報通信システムの受講を推奨する。研究室に関する詳しい情報はホームページを参照してください。

交通環境 研究室

伊東英幸 教授
末次優花 助手



交通環境研究室では、交通に関わるさまざまな環境問題に取り組んでおり、環境との共生を目指した交通計画の立案や評価ならびに交通環境の改善に向けた研究を進めています。具体的には、エゾシカやアマミノクロウサギ、ヤンバルクイナなどを対象として野生生物と自動車の事故発生要因の分析および対策効果の検証や、グリーンズローモビリティ導入による移動サービスの向上およびCO₂排出量の削減効果の推計、奄美大島におけるオーバーツーリズムを踏まえた観光行動の分析などを行っています。また、その他には地域貢献型研究として、さまざまな自治体と連携し、コミュニティバスやデマンド交通の導入による効果の推計なども行っています。

令和5年度のゼミナールは、大学院生4名、卒研究生12名、3年ゼミ生13名の総勢29名が在籍し、ゼミナールや卒業研究中間発表会を年2回実施しました。

●卒業研究テーマ（一部）

- ・奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキル発生要因の分析
- ・沖縄県道2号線を対象としたヤンバルクイナの交通事故発生要因の分析
- ・自動車のヘッドライト点灯によるヤンバルクイナの道路への飛び出し防止効果の分析

- ・いすみ鉄道における高周波発生装置設置によるレールキル対策の検証と効果の推計
- ・千葉県桜木地域におけるグリーンズローモビリティの導入によるCO₂削減量の推計
- ・奄美大島を対象としたコロナ禍前後のレクリエーション価値の比較分析
- ・コロナ禍とアフターコロナにおける奄美大島の観光客を対象とした回遊行動分析
- ・富里市のデマンド交通の需要平準化に向けた施策の評価
- ・函館市の市街地交差点における高齢歩行者の人身事故の発生要因の分析



富里市長との公共教育マップコンテストの様子

- ・研究室内で取り組んでいる研究内容の紹介
- ・富里市の公共交通マップの作成
- ・インターンシップに向けた就職&進路セミナー
- ・卒業生による業務内容の紹介

●ゼミナール・テーマ（令和5年度実施内容）

- ①研究紹介
 - ・研究室で取り組んでいる研究内容の紹介
- ②社会貢献型学習(自治体との協働によるグループワーク)
 - ・富里市の公共交通マップの作成
- ③就職&進路指導
 - ・インターンシップに向けた就職&進路セミナー
 - ・卒業生による業務内容の紹介

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通にかかわる環境問題に関心を持ち、解決に向けた高い意欲があること。

空間情報 研究室

佐田達典 教授
積田典泰 助手



空間情報研究室では、衛星測位システム（GNSS）、レーザ点群計測技術、写真計測技術（フォトグラメトリ）をベースに、先端的なセンサを利用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行い、3次元地図整備、交通施設整備、移動時の情報提供への応用を目指しています。

GNSSは米国のGPS、わが国の準天頂衛星QZSSをはじめ世界各国のシステムを用いた高精度測位実験による評価を行っています。車両にGNSSとレーザ計測装置を搭載して道路空間の形状を走行しながら計測するモバイルマッピングシステム（MMS）を用いて自動走行のための3次元道路情報や歩行者の移動円滑化に向けた歩道のバリア情報の抽出などの応用技術を研究しています。令和5年度は福島ロボットテストフィールドでMMSとUAV（ドローン）によるトンネル内計測実験を実施したほか、最先端の装置を用いた実験を



福島ロボットテストフィールドでのMMS（左）、UAVレーザ（右）によるトンネル内計測実験

数多く実施しました。

●卒業研究テーマ（令和5年度）

- ① GNSSのVRS測位における複数衛星系併用効果の検証
- ② QZSSのセンチメートル級測位補強サービスの精度検証
- ③ 低コストGNSS受信機の精度検証
- ④ MMSによる路面計測点群データのノイズ除去法の比較
- ⑤ 鉄道用MMSによるレールとプラットフォームの計測
- ⑥ UAVレーザによるトンネル内点群計測の精度検証
- ⑦ UAVレーザによる橋梁点群計測の精度検証
- ⑧ LiDAR-SLAMによる自己位置推定システムの精度検証
- ⑨ 地中レーダを用いた地下埋設物の位置検出精度検証
- ⑩ フォトグラメトリによる3D駅構内図の作成

●ゼミナール・テーマ

GNSS、レーザ点群計測について専門書の輪講を行い、計測装置の操作演習を行います。また、GNSS解析ソフトウェア、点群解析ソフトウェアの演習を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。新技術に興味のある方を歓迎します。



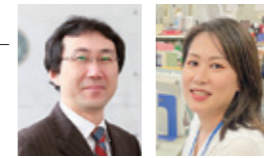
鉄道用MMSによる実験



模擬プラットフォーム

交通計画 研究室

小早川 悟 教授
青山恵里 助教



交通計画研究室では、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っています。具体的には、自動車のトリップエンドとしての駐車をどのようにコントロールしていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策に関する研究、災害発生を考慮した都市交通計画の検討などを進めています。さらに、卒業研究中間発表会や研究室懇親会では、研究室の卒業生の先輩方にも参加していただき、研究内容や就職活動に関するさまざまな意見交換を行っています。

●卒業研究テーマ

- ① 駐車施設の運用に関する研究
 - これまでのような普通乗用車用の駐車スペースの供給量を増やすことを主眼においた駐車政策から、既存の駐車スペースを有効活用するための駐車場の隔地・集約化に関する研究や、貨物自動車や自動二輪車用の駐車スペースを確保するための研究に取り組んでいます。また、駐車場の出入口の安全性に関する研究も行っています。
- ② 物流システムに関する研究
 - 物流効率化のための施策として建物内共同配送に関す

る研究や、貨物車対策のためにビッグデータを活用し貨物車の動きを把握する研究を行っています。

- ③ 交通安全に関する研究
 - 道路形状からみた交通事故対策の考え方や生活道路における交通安全対策に関する研究を行っています。さらに、無信号横断歩道における車両のゆづりを促進させる社会実験にも取り組んでいます。
- ④ 自転車交通に関する研究
 - 自転車通行空間整備のための自転車通行実態調査を実施することで、どのような形態の道路空間整備が自転車や歩行者さらには自動車にとって望ましいかを道路種別や交差点形態別に分析を行っています。
- ⑤ 災害時を考慮した都市交通計画に関する研究
 - 災害時における支援物資輸送のための道路計画に関する研究や水害時や津波発生時の避難計画に関する検討を行っています。
- ⑥ 信号交差点の交通容量に関する研究
 - 安全かつ円滑な道路計画・設計の実現を目指し、交通特性や道路構造に着目した研究を行っています。

●ゼミナール・テーマ

- ・『交通技術必携』の輪読および発表
- ・「これからの交通工学」や「研究活動の進め方」等の講義
- ・交通対策の現場見学会
- ・交差点解析の基礎演習
- ・卒業研究に向けた研究レビューの演習

●卒業研究、ゼミナール着手条件

ロジスティクス概論を受講すること。

鉄道構造 研究室

谷口 望 教授
齊藤 準 准教授
飯田 樹 助手



当研究室では、公共交通を支えるために重要となる交通基盤（鉄道構造物や道路構造物）を対象として、さまざまな活動や研究を行っています。交通基盤の新たな建設、膨大な数の交通基盤の機能維持など、交通基盤を取り巻く諸問題は多く、その解決を目指したテーマを設定し研究に取り組んでいます。

研究活動では、積極的に成果を公表することとし、学協会の発表会やシンポジウムに投稿します。ゼミナール活動では、配属学生との相談の上、学生向け橋梁コンペティションへの参加のための製作、コンクリートカヌー大会に出場するためのカヌー作製などを通じて、習得した知識を活かすことやモノづくりの楽しさを経験します。なお、齊藤准教授は2025年2月末まで、日本大学海外派遣研究員（長期）によりイギリス滞在となる予定です。



JR工事現場見学会の様子（2023.8）

コンクリートの3次元X線CT画像

●卒業研究テーマ（令和5年度）

谷口教授

- ・鉄道技術を活用しサステナビリティを向上させた道路用合成桁の開発
- ・鉄道用曲線合成桁におけるダイアフラムの設計手法の検討
- ・他主桁を有する鉄道用SRC桁の応力分担率の検討
- ・トンネル立坑の合理的設計に関する検討
- ・各種鉄道構造物に対する合理的設計法や維持管理手法に資する研究

齊藤准教授

- ・圧縮応力の継続付与によるコンクリートの内部空隙構造の挙動の解明
- ・振動締固め時間の違いがコンクリートの材料分離や強度に与える影響の解明
- ・効率的な道路橋点検を目指した健全性診断結果と環境・気象条件との相関解析
- ・ポーラスコンクリート版の反り現象のメカニズムの解明

●ゼミナール活動

- ・ジャパンスチールブリッジコンペティション（JSBC）用の橋梁の設計、製作（谷口）
- ・コンクリート・モルタルを用いたカヌーの作製「コンクリートカヌー大会に出場！」（齊藤）
- ・自由研究、課外活動（現場見学会、工場見学会、施工体験会など）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

材料・構造に関する科目の履修を推奨する（卒研と同時に履修可）。

TOPICS 新任教員の紹介



飯田 樹 助手

この度、日本大学理工学部交通システム工学科の助手に着任いたしました。飯田樹です。私は、本学科を2021（令和3）年に卒業後、建設コンサルタント会社にて3年間の実務経験を経て、4月より本学科にてお世話になることとなりました。

前職では鉄道構造物（駅改良・橋りょう）の設計を行ってまいりました。もともと勉強は得意ではなかったのですが、業務の中で実際に私が設計した構造物が出来上がった時は、達成感とやりがいを感じることができました。業務を行う中で、学生の頃に比べ学ぶことの面白さに気が付くことができました。

4月からは、新たな環境でまた一から学んでいこうと思っております。未熟者ではありますが、努力して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

JR 鶴見線
現地調査の様子

末次優花 助手

この度、日本大学理工学部交通システム工学科の助手に着任させていただきましたことになりました末次優花です。私は鳥取大学農学部を卒業後、総合建設コンサルタント会社に入社し、環境アセスメント等の業務に従事しました。その後、同会社を退職し、

鳥取大学大学院連合農学研究科博士後期課程に進学しました。同大学院を修了後、まちづくりシンクタンク会社で環境や都市計画等の業務経験を経て、4月より本学科にてお世話になることとなりました。

博士論文では、鳥取県をフィールドに、アカマツ人工林におけるオオタカ（Accipiter gentilis）保護と林業の両立に向けた研究や、ロードキルの記録体系に関する研究などに取り組みました。

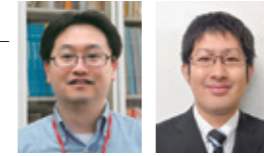
未熟ではありますが、自身の経験を生かして先生方、学生の皆さんのお力になれるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



道路を横断する二ホンジカ(鳥取県で撮影)

地盤工学 研究室

峯岸 邦夫 教授
山中 光一 准教授



研究室構成は、大学院博士後期課程1名、前期課程1名、卒研生17名、ゼミナール生10名の合計29名で、教員は峯岸教授、山中助教の2名体制で研究・教育を進めました。

当研究室では、交通施設（鉄道、道路、空港、港湾など）に関連する施設）の設計・建設に関わる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理に関わる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の舗装用強化されたジオテキスタイル（土木用不織布）の耐久性および通水性能、ジオシン

セティックスを立体的に組み立てて地盤内に敷設をするジオセルの力学特性の把握ほかに、補強盛土工法の維持管理に関する研究等を行いました。

これらの成果

小型 FWD を用いた現場試験

室内 CBR 試験

これらの成果

これらの成果

は、(公社)地盤工学会関東支部発表会や(公社)土木学会関東支部技術研究発表会において発表を行っています。

学生の動きとしては、例年、地盤工学会関東支部主催のソイルストラクチャーコンテスト（与えられた地盤材料を用いて構造物を作製し、強度等を競うコンテスト）に学部生が参加し、日頃の研究や勉強成果を活かしています。

また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める三上杯バレーボール大会と関東大学地盤研究室対抗ソフトボール大会に研究室全員で参加し、他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めています。

●卒業研究テーマ

- ① 舗装用強化ジオシンセティックスの耐久性および排水性評価
- ② 軽量化地盤材料による埋設物への土圧低減特性
- ③ 乱された関東ロームの力学特性
- ④ 路床・路盤の弾性係数に関する研究
- ⑤ ブロック系舗装に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ① 交通地盤工学（交通施設の地盤工学）とは？
- ② 大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ③ 地盤構造物への新素材・新材料の利用技術
- ④ 新しいアスファルトの技術
- ⑤ フィールド・トリップ（地盤の観察、現場見学など）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

卒業研究は地盤力学、地盤・基礎構造と地盤材料実験を履修（同時履修可）。

TOPICS 交通システム工学科配置図

4F	移動空間デザイン 演習室 745 B室	移動空間デザイン研究室 江守 教授 745 A室 内線 5503	運輸交通計画研究室 轟 教授 吉岡 准教授 744室 内線 5219	運輸交通計画演習室 743 B室	
3F	交通システム研究室 福田 教授 石坂 教授 菊池 助教 739室 内線 5355	交通環境研究室 伊東 教授 末次 助手 738室 内線 6476	交通環境演習室 737室	交通システム演習室 735室	
2F	交通システム工学科 事務室 熊田・杉本 7214室 内線 5239	交通システム工学輪講室 7213室	空間情報研究室 佐田 教授 積田 助手 7212室 内線 8147	交通計画研究室 小早川 教授 青山 助教 7211室 内線 5242	交通現象解析室 7210室
1F	鉄道構造研究室 谷口 教授 飯田 助手 7111室 内線 5240	(鉄道構造研究室・演習室) 齊藤 准教授 ※海外出張中 7110室 内線 5241	空間情報演習室 719室	地盤工学演習室 718室	地盤工学研究室 峯岸 教授 山中 准教授 717室 内線 5217

- 2号館：舗装・地盤系実験室(201、202)……………内線5418
 - 7号館：コンクリート・構造系実験室(704)……………内線5236
 - 社会基盤工学系実験 建設材料系……………内線5216
 - 地盤・舗装材料系……………内線5584
 - 測量実習センター……………内線5322
 - 駿河台校舎タワースコラ6階：交通システム工学科共通研究室(S611室)……………内線976
- ダイヤルイン 03-3259-0976

ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX：047-469-2581

令和5年度 修士論文・卒業研究

修士論文

通行機能が期待される道路の種級区別性能曲線の提示 指導：下川澄雄 教授	青木優汰
ジオセル補強路盤の路盤厚算定式提案に関する研究 指導：峯岸邦夫 教授	荒木大空
タイ・バンコクにおける都市鉄道の運行サービス水準の改善が事業採算性に与える影響の推定 指導：福田 敦 教授	岩浪恒太
脱炭素社会の実現に向けた次世代自動車の普及政策の評価に関する研究—給電施設を考慮した動学的モデルを用いて— 指導：福田 敦 教授	柿島里香
MMS のマルチ GNSS 測位における効果的な測位衛星の選択に関する研究 指導：佐田達典 教授	田村悠太郎
奄美大島を対象としたコロナ禍前後における観光客の行動分析およびレクリエーション価値の比較分析 指導：伊東英幸 教授	土屋大樹
高速 VTOL の導入を前提とした離着陸場の配置を考慮した航空交通手段の選択確率の推定—米国の都市間交通を対象として— 指導：轟 朝幸 教授	筒井悠太

卒業研究

■ 運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・吉岡慶祐 助教)	【 】は共同論文指導
地域鉄道駅の観光拠点としての利活用に関する研究—地域連携機能に着目したニーズ把握—	菊地悠太
地域鉄道における観光列車の参加要因に関する分析—いすみ鉄道に着目して—	東海林優真
災害時の支援物資輸送拠点の適地選定に関する分析—船橋市を対象に—	仲唐琉矢
ETC2.0プローブデータを用いた災害時の道路交通の実態分析—令和元年台風15号の成田空港周辺を対象にして—	緑川 洸
都市内における高速 VTOL 離着陸場の候補地点抽出に関する研究—米国ロサンゼルスを対象として—	法橋 唯
日本における VTOL の社会受容性に関するアンケート分析	平野凌羽
ビジネス航空の利用実態に関する国際比較分析	吉田智哉

バリア点検を想定したモバイル端末搭載 LiDAR による路面計測における計測範囲と標定点の設置条件に関する研究 指導：江守 央 准教授	中村祐太
都市洪水下でモビリティを確保するための住民移転政策の実施可能性の評価—タイ・ウボンラチャタニ市を対象として— 指導：福田 敦 教授	佐伯章吾
災害時における従業員参集のための交通マネジメントに関する検討—成田国際空港を対象として— 指導：轟 朝幸 教授	保坂直哉
附置義務緩和と隔地距離が駐車施設の集約化に与える影響予測 指導：小早川 悟 教授	山本聡志
幹線道路の平均旅行速度の違いに着目した生活道路の交通事故分析 指導：小早川 悟 教授	行武颯斗
暫定2車線高速道路における自由流状態を対象としたサービス指標の提案 指導：下川澄雄 教授	吉村将輝
信号交差点における電動キックボードの通行実態に関する分析	川原廉太郎
電動キックボードすれ違い時の回避挙動特性に関する基礎分析	福田爽太
ふなばし三番瀬海浜公園の水難事故発生日の特徴分析	平賀亜矢
オープンソースソフトウェアによる歩行者軌跡の精度検証—海浜公園利用者の行動把握を想定して—	家田利紀
正十字ラウンドアバウトにおける進行方向別の走行挙動に関する研究	齋藤綾乃
一時停止交差点の主道路左折車両に対する流入判断に関する研究	三浦悠登
現場の点検実態に基づく ETC 設備の効果的な維持管理手法に関する研究	梅崎璃花【桑原雅夫】

高速道路付属施設の生存確率に基づく点検戦略に関する研究—トンネル照明取付金具を対象として—
吉武弘尊【桑原雅夫】

■ 交通システム研究室

(福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授・菊池浩紀 助教) ……………

GCN を用いた Macroscopic Fundamental Diagram の短期予測—米国加州のフリーウェイを対象として— 秋山直輝

タイと日本の小学校における交通安全教育の比較分析
池田萌花

プリンス・オブ・ソンクラ大学内のラウンドアバウトにおける車両の走行軌跡を用いた安全性の分析 伊藤佑哉

X-minute city の概念に基づく都市政策の実態分析
大門泰之

円滑な自動車避難に向けた道路冠水情報の提供による避難時間削減の検証
—マイクロ交通シミュレーションを活用した分析—
岸 紗也都

エネルギーミックスが次世代自動車から排出される二酸化炭素の削減に与える影響の分析
繁本貴明

ドライビングシミュレーターを用いた道路冠水情報提供時の運転挙動解析
清水敬仁

日本のスマートシティ事業におけるスマートモビリティの位置付けと課題の整理
館 悠太郎

UAV 動画を用いた U ターン車両と対向車走行軌跡抽出による衝突リスク評価
中田吉紀

次世代自動車に対する認知度が購入意欲に与える影響の分析
中野太陽

タイにおけるスマートシティの実態分析
中谷慎太郎

所要時間と混雑率を考慮したバンコク都市鉄道への需要の推計
根本雅大

タイの幹線道路における LSTM を用いた U ターン走行開始モデルの構築
深井慧仁

バンコクにおける都市鉄道の沿線開発が事業採算性に与える影響の評価
HOU YUCHEN

グリーンスローモビリティのための信号制御方法及び道路構造に関する研究
谷津翔太

公共交通沿線における都市機能施設の充実度の実態把握と都市規模との関係性の分析
山保寛奈

ドライブレコーダーから車間距離を推定するための画像認識技術に関する基礎的研究
吉村航輝

公共交通ネットワークの密度の違いによる都市機能施設へのアクセス性の分析
齋藤夏緒

避難行動要支援者の自動車による避難における課題の抽出
大川友也

バンコクのブルーライン延伸区間における駅周辺の歩行環境の評価
高橋功貴

■ 交通環境研究室 (伊東英幸 教授) ……………

時空間暴露量を用いた下田市旧町内の自動車通行規制による歩行環境の影響評価
大橋陽菜

Bluetooth スキャナを用いた歩行者交通量の推定—下田市のまじゅう図書館社会実験前後を対象として—
松本考邦

富里市のデマンド交通の需要平準化に向けた施策の評価
山口大樹

千葉市桜木地域におけるグリーンスローモビリティの導入による CO₂削減量の推計
山口 慶

コロナ禍とアフターコロナにおける奄美大島の観光客を対象とした回遊行動分析
木塚 響

奄美大島を対象としたゾーントラベルコスト法によるコロナ禍前後のレクリエーション価値の比較分析
山内悠誠

奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキル発生要因の分析
小川浩幸、勝又由伸

自動車のヘッドライト点灯によるヤンバルクイナの事故防止効果の検証
—沖縄県道2号線を対象として—
後藤梨菜

沖縄県道2号線を対象としたヤンバルクイナの交通事故発生要因の分析
笠原 綺

いすみ鉄道における高周波発生装置設置によるレールキル対策の検証と効果の推計
高橋 亮

函館市の市街地交差点における高齢歩行者の人身事故の発生要因の分析
川村 航

■ 空間情報研究室 (佐田達典 教授・江守 央 准教授) …

デジタル写真を用いた3D 駅構内図の作成に関する研究
田中颯汰

低速度移動体の計測を想定した低コスト GNSS 受信機の精度検証
井上義仁

RTK 測位における低コスト GNSS 受信機の精度検証 小峰翔太	放置自転車対策の実施が駐輪場の利用状況に与える影響分析 —東京都渋谷区笹塚を対象として— 山下聡士
静止および低速移動時における VRS 測位の複数衛星系併用効果に関する研究 大野木 華	商店街における買い物客による放置自転車の特徴分析 —東京都渋谷区幡ヶ谷六号通り商店街を対象として— 粕谷亮太
QZSS が提供するセンチメートル級測位補強サービスにおける森林部での測位精度検証 高橋秀昌	千葉県鎌ヶ谷市におけるコミュニティバスの利用者意向分析 畑野寛人
センチメートル級測位補強サービスにおける QZSS の併用効果の検証 堀井 涼	千葉県内のコミュニティバスの運行実態分析 伊藤大智
QZSS のセンチメートル級測位補強サービスを用いた遮蔽環境における衛星系の組み合わせ効果に関する研究 大熊琉希	通学路におけるグリーンベルトの歩行者の通行実態分析 石塚昂大
コンクリート壁面のひび割れ検出における 8K 画像の有用性に関する研究 鈴木康朗	多車線道路の無信号横断歩道における昼夜間の車両の譲りの実態と歩車間の交錯危険性に関する研究 —千葉県船橋市の無信号横断歩道を対象として— 松尾怜央
GNSS/IMU と LiDAR-SLAM を融合した自己位置推定システムの測位精度に走行条件が与える影響 内藤丈登	地域特性に着目した無信号横断歩道における車両の譲り挙動に影響を与える要因分析 渡辺晴海
鉄道空間計測用レーザスキャンシステムによるレールとプラットフォームの形状計測精度に関する研究 正親優汰	水害時の無人航空機による救援物資輸送に関する研究 —東京都荒川区を対象として— 神谷伊織
鉄道空間計測用レーザスキャンシステムによる点群の取得範囲と寸法計測精度に関する研究 芦澤憂紀	ネットワーク解析を用いた徒歩避難に関する研究 玉河 凌
地中レーダーを用いた地下埋設物の位置検出精度の検証 福井巧海	■ 道路マネジメント研究室 (下川澄雄 教授) ……………
MMS により計測した路面の点群データにおけるノイズ除去方法の比較 小暮佑亮	信号交差点における飽和交通流率の経年変化に関する分析 鈴木裕太
標定点補正による UAV レーザ計測を用いたトンネル内点群データの精度検証 日野原遼生	2 車線道路直進車線における飽和交通流率に関する研究 加藤玲佳
MMS による橋梁下部からの橋脚点群計測の精度検証 石塚 智	観光交通が卓越した信号交差点における飽和交通流率の分析 青山直暉
UAV レーザ計測による橋梁の形状測定に計測条件が及ぼす影響 田口博康	左折専用車線の交通容量算出時に用いる飽和交通流率に関する研究 鈴木敦大
■ 交通計画研究室 (小早川 悟 教授) ……………	踏切における飽和交通流率と幾何構造との関係分析 松岡陸叶
駐車施設出入口の位置の違いが歩行者の危険度に与える影響分析 澤田優人	2 車線道路のサービス速度に対する影響要因に関する考察 中島 希
右折入庫が前面道路に与える円滑性の影響分析 加納優貴	高速道路のゆずり車線設置区間における車線利用率に基づく渋滞削減効果の試算 美濃輪敬之
サンプル数の違いからみた生活道路における旅行速度の信頼性 川端俊介	高速道路のゆずり車線設置区間における渋滞中交通流率に関する分析 奥田雄太
挟幅員な商店街における自転車通行の実態分析 —東京都渋谷区幡ヶ谷六号通り商店街を対象として— 大坂宙輝	

暫定 2 車線高速道路の自由流時における車両挙動の分析 瀬戸 翔	柔ジベルを用いた合成桁の限界状態に関する検討(正曲げ) 福田光彬
高速道路における暫定 2 車線切り替え前後のサービス速度の変化に関する分析 青木越洋	柔ジベルを用いた合成桁の限界状態に関する検討(負曲げ) 楊 銘宇
大型トラックの走行が高速道路の交通状態に及ぼす影響分析 松尾貫汰	■ 地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 准教授) ……
高速道路リニューアル工事における渋滞発生時の到着需要分析 大島永智	小型 FWD 装置から得られる荷重と変位に及ぼす計測条件の影響 伊田優史
わが国の高速道路のインターチェンジへのアクセシビリティに関する分析 田中優磨	小型 FWD から得られる測定結果のバネ補正係数の提案 本田宥士
■ 鉄道構造研究室 (谷口 望 教授・齊藤準平 准教授) ……	目地深さと強化板サイズの異なる大版ブロック舗装の支持力特性 鳥海遼太郎
弾性限度以上の圧縮応力が付与されたコンクリートの内部空隙構造 青葉悠斗、辻口裕雅	300mm 角大版ブロック舗装の支持力特性に及ぼす路盤厚・強化板の影響 布施 凌
振動締め時間が異なるコンクリートの圧縮強度および超音波速度 郭 孝塵	路床土を対象としたレジリエントモデュラス試験の測定結果に関する一考察 小林凜汰郎
ポーラスコンクリート舗装版の乾燥・湿潤に伴う反り挙動の解明—質量変化と変形挙動について— 近藤司希、高田航輝	ジオテキスタイルを用いた舗装構造の剛性評価 岡崎智也
全国の道路橋の健全度への地理・気象条件・交通状況の影響度分析 岡根大貴、竹田海斗	透水性舗装のフィルター層に用いる強化不織布の通水性能に及ぼす切り出し方向の影響 千葉早苗
よいと評価された少乗降者数の駅の特徴に関する研究 政本佑真	表面強化不織布の新たな耐久性評価方法の提案 塚本翔瑛
力学教育のモデルによるはりのたわみを学ぶための補助教材に関する研究 薄倉岳明	ジオセルを用いた補強路盤の応力分散範囲に関する検討 平野皓大
鉄道用曲線合成桁に対するダイヤフラムの効果に関する研究 吉川拓歩	ジオセルを用いた補強地盤の応力低減効果 森本康太
トンネル立坑の形状が応答値に与える影響 高野 魁	盛土内に敷設した排水材の集水挙動に及ぼす敷設間隔の影響 深瀬友喜
多主桁を有する SRC 桁の応力分担性状に関する研究 熊谷隼人	ジオグリッド補強土壁の支持力と背面盛土の挙動 奥津 葵
一面接合されたりベット板に発生する残留応力が降伏耐力に与える影響 中島史尋	埋設管の緩衝材として用いた発泡ビーズ混入軽量化土の荷重軽減効果 海老原佑亮
二面接合されたりベット板に発生する残留応力が降伏耐力に与える影響 富樫遥輝	石灰安定処理土に混合した短繊維の膨張抑制および補強効果 梅澤一郎
ヒューズ機構を有する仮橋脚構造の設定固有周期が地震応答に与える影響 山下 陸	溶融スラグの添加が石灰安定処理土の支持力特性に及ぼす影響 孫 逸航
TRS ボルトにより接合された柔ジベルの終局限界に関する載荷試験 渡辺知希、寺本莉菜	ジオポリマで改良した地盤材料の力学特性 門脇健太
	各地域における関東ロームの力学特性 多田大輝

令和5年度 教員・研究員の研究・活動 2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31

研究業績 2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31

発行元・掲載誌・会議名 題目・作品名・書名 教員名など 発表年月

運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・吉岡慶祐 助教)

■著書

成山堂書店 「空のみなと」のインフラ学 未来の空港・航空システムを語る 山縣宜彦 轟 朝幸 23年8月 加藤一誠 (編著)

■審査論文

(公社)土木学会 わが国におけるビジネス航空の特性分析—国際比較を通じて— 轟 朝幸 熊澤将之 23年12月 土木学会論文集 兵頭 知 稲垣具志 79巻12号

(一社)交通工学研究会 踏切の停止線を通過する車両の車頭時間と飽和交通流率に関する研究 本間裕洋 下川澄雄 24年2月 交通工学論文集 吉岡慶祐 青山恵里 10巻1号 pp.A_132-A_138

■口頭発表

(公社)土木学会 Bluetoothを用いた地域鉄道OD交通量の推計手法に関する研究 兵頭 知 三木田龍一 23年6月 第67回土木計画学研究発表会 西脇雅人 轟 朝幸 古竹孝一 菅 芳樹

(一社)交通工学研究会 道路施設点検における故障予知に関する一考察 吉岡慶祐 掛上寛希 23年8月 第43回交通工学研究発表会 桑原雅夫 下川澄雄 水谷大二郎 川崎洋輔 佐津川功季

(一社)交通工学研究会 踏切の停止線を通過する車両の車頭時間と飽和交通流率の分析 本間裕洋 下川澄雄 23年8月 第43回交通工学研究発表会 吉岡慶祐 青山恵里

(公社)土木学会 暫定2車線高速道路の単路部自由流時における車両挙動に関する考察 吉村将輝 下川澄雄 23年9月 第78回年次学術講演会 吉岡慶祐

(公社)土木学会 通行機能が期待される多車線道路の種級区別性能曲線の提示 青木優汰 下川澄雄 23年9月 第78回年次学術講演会 吉岡慶祐

(公社)土木学会 災害時における基幹空港利用者の人流実態に関する分析—成田国際空港を対象に— 保坂直哉 兵頭 知 23年9月 第78回年次学術講演会 轟 朝幸 金子雄一郎

(公社)土木学会 米国における高速VTOL導入による航空交通手段の選択確率の推定 筒井悠太 轟 朝幸 23年9月 第78回年次学術講演会 兵頭 知 熊澤将之

The 15th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies Evaluation of E-Scooter and Automobile Driver's Perceived Safety and Comfort during Overtaking Based on Field Driving Tests Keisuke Yoshioka, 23年9月 Sumio Shimokawa, Jumpei Kikkawa

(公社)土木学会 電動キックボードの走行実態調査に関する基礎分析 立松秀樹 加藤明里 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 佐々木啓太 高山琴名 吉岡慶祐 鈴木弘司

(公社)土木学会 強化学習を用いた分散型ネットワーク信号制御—強化学習パラメータの感度分析— 福田和輝 橋本 申 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 桑原雅夫 田名部淳 吉岡慶祐

(公社)土木学会 道路交通のサービスの質と評価指標の構造に関する一考察—指標に関する研究レビューと概念整理を通して— 張 馨 井料美帆 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 吉岡慶祐 青山恵里 柿元祐史

(公社)土木学会 道路の交通容量に関する研究レビューと今後の展望 泉 典宏 青山恵理 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 石田貴志 柿元祐史 近田博之 張 馨 吉岡慶祐 野中康弘 喜多秀行

(公社)土木学会 通行機能が期待される道路の種級区別の性能曲線の提示 青木優汰 下川澄雄 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 青山恵里 吉岡慶祐

(公社)土木学会 トリップ発着地点の多様性に着目した道路ネットワーク階層化の効果分析 内海泰輔 吉岡慶祐 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 喜多秀行 浜岡秀勝

(公社)土木学会 日本のラウンドアバウトデータベースの開発と導入実態の概観 吉岡慶祐 張 馨 23年11月 第68回土木計画学研究発表会 中村英樹

(公社)土木学会 深層強化学習を用いた信号現示最適化に関する基礎検討, 山崎颯太 桑原雅夫 24年3月 第51回関東支部技術研究発表会 右左折交通を含む4現示制御単独交差点での制御パラメータ検証 吉岡慶祐 轟 朝幸

(公社)土木学会 一時停止交差点の交通容量推定方法の海外比較と推定精度の比較検証 張 錦汐 吉岡慶祐 24年3月 第51回関東支部技術研究発表会 轟 朝幸

(公社)土木学会 一時停止交差点における主道路左折車両に対する流入判断に関する研究 三浦悠登 吉岡慶祐 24年3月 第51回関東支部技術研究発表会 轟 朝幸

(公社)土木学会 現場の点検実態に基づくETC設備の効果的な維持管理手法に関する研究 梅崎璃花 桑原雅夫 24年3月 第51回関東支部技術研究発表会 吉岡慶祐 轟 朝幸

■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

関西空港調査会 航空空港研究会レポート「ビジネスジェット利用状況の世界と日本の違い」 轟 朝幸 熊澤将之 23年6月 KANSAI 空港レビュー No.535

成田国際空港株式会社 成田空港への手紙「シン・成田空港への期待」 轟 朝幸 23年10月 GREEN PORT REPORT 2023年10月号

(一財)港湾空港総合技術センター 日本の空港の未来像「人々の行きたい見たいに応える新たな空港・航空のあり方を考える」(インタビュー記事) 轟 朝幸 23年10月 SCOPE NET Vol.89 pp.8-13

東洋経済新報社 The Vision「知と術を融合させたものづくりと人づくり」 轟 朝幸 23年12月 週刊東洋経済 2023年12/23号

TBS テレビ 都営地下鉄のホームドア設置率が100%達成! 轟 朝幸 24年2月 Nスタ コストを1000分に1に抑えた「QRコード」の活用とは(コメント出演)

交通環境研究室 (伊東英幸 教授)

■審査論文

日本環境共生学会 自動車のヘッドライト点灯によるヤンバルクイナの飛び出し防止効果の検証 笠木一樹 伊東英幸 24年3月 環境共生 黒田ゆうび 向真一郎 Vol.40, No. 1 一沖縄県道2号線を対象として一

■口頭発表

日本環境共生学会 自動車のヘッドライト点灯によるヤンバルクイナの飛び出し防止効果の検証 笠木一樹 伊東英幸 23年9月 第26回学術大会 黒田ゆうび 向真一郎 一沖縄県道2号線を対象として一

日本環境共生学会 千葉県富里市日吉台へのグリーンスローモビリティ導入によるCO₂削減効果の推計 佐藤航希 伊東英幸 23年9月 第26回学術大会 渋谷亮太

(公社)土木学会 コロナ禍における奄美大島の観光客の回遊行動分析 土屋大樹 伊東英幸 23年9月 第78回年次学術講演会 藤井敬宏

(公社)土木学会 富里市日吉台へのグリーンスローモビリティ導入による利用者数の推計 佐藤航希 伊東英幸 23年9月 第78回年次学術講演会 藤井敬宏

(公社)土木学会 奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキル多発区間の分析 大森涼太 伊東英幸 23年9月 第78回年次学術講演会 浅利裕伸 藤井敬宏

第23回「野生生物と交通」研究発表会 エゾシカの事故対策に向けたフェンス設置による費用対効果分析—北海道国道44号を対象として— 伊東英幸 小川慎之亮 24年2月

■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

株式会社広域高速ネット二九六 日本大学の学生が公共交通マップを制作し、富里市に提案 交通環境研究室 23年10月 296ニュース

千葉テレプラス 国道16号の渋滞解消など 千葉北西連絡道路検討会初会合 伊東英幸 24年2月

交通システム研究室 (福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授・菊池浩紀 助教)

■審査論文

MDPI AG Estimation of the Evacuation Time According to Piyapong Suwanno, 23年4月 Sustainability 15巻7号 p.6305 Different Flood Depths Chaiwat Yaibok, Noriyasu Tsumita, Atsushi Fukuda, Kestsirin

Theerathitichaipa, Manlika Seefong, Sajjakaj Jomnonkwao, Rattanaporn Kasemsri

Institute of Research and Community Services Diponegoro University (LPPM UNDIP) International Journal of Renewable Energy Development 12巻 4号 pp.655-665	Energy demand modeling for low carbon cities in Thailand: A case study of Nakhon Ratchasima province	Atit Tippichai, Kattreeya Teungchai, Atsushi Fukuda	23年 5月
AIP Conference Proceedings 2639 (1)	Evaluating Impacts of Road Pricing and Teleworking Policy in Jakarta Metropolitan Area by Analyzing Activity Pattern	Rizky Wahyulinata, Noriyasu Tsumita, Sideney Schreiner, Atsushi Fukuda	23年 8月
Elsevier BV IATSS Research 47巻 3号 pp.416-431	GIS-based identification and analysis of suitable evacuation areas and routes in flood-prone zones of Nakhon Si Thammarat municipality	Piyapong Suwanno, Chaiwat Yaibok, Thaksakorn Pornbunyanon, Chollada Kanjanakul, Chayanat Buathongkhue, Noriyasu Tsumita, Atsushi Fukuda	23年10月
■口頭発表			
System Dynamics Society 2023 International System Dynamics Conference	Application of Urban Model to Shrinking Cities with Population Decline	Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda, Guenter Emberger	23年 7月
Asian Transportation Research Society The 16th ATRANS Annual Conference	Logistic Services Utilizing Drone & Flying Car: Trials in Japan	Atsushi Fukuda	23年 9月
Asian Transportation Research Society The 16th ATRANS Annual Conference: Young Researcher's Forum 2023	Understanding Problems of Design Standard of Roundabouts in Thailand Using Comparison of Standards	Shogo Arakawa, Noriyasu Tsumita, Hiroki Kikuchi, Pramet Luathep	23年 9月
Association for European Transport European Transport Conference 2023	Evaluation of Tax and Subsidies for BEVs Diffusion in the Japanese Automobile Market	Rika Kakishima, Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda	23年 9月
The 15th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies	Can Telework Diffusion Sustain Shrinking Cities? Simulation Analysis Using Dynamic Land-Use and Transport Model	Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda, Guenter Emberger	23年 9月
The 15th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies	Traffic Performance Influenced by Motorbikes and Autorickshaws Under Heterogeneous Traffic Using UAVs	Tetsuhiro Ishizaka, Kazu Fujieda, Mohammed Asif Nawaz, Shaik, Digvijay Sampath Pawar	23年 9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	タイにおけるラウンドアバウトの課題点の把握と改善案の提案—スラナリー工科大学内のラウンドアバウトを対象として—	荒川翔吾 福田 敦 菊池浩紀	23年 9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が都市部での人々の行動様式に与えた影響の分析	佐藤嘉紀 菊池浩紀 福田 敦 石坂哲宏	23年 9月
日本環境共生学会 第26回学術大会	Understanding How Residents Change Their Activity to Adapt Urban Flood Situation in Cagayan de Oro, Philippines	Shogo Saeki, Noriyasu Tsumita, Alexis Fillone, Anabel A. Abuzo, Atsushi Fukuda	23年 9月
日本環境共生学会 第26回学術大会	Estimation of Riverine Flooding Situation by Logistic Regression Analysis in Ubon Ratchathani, Thailand	Noriyasu Tsumita, Suwanno Piyapong, Ratthanaporn Kaewkluengklomm, Sittha Jaensirisak, Atsushi Fukuda	23年 9月
Mobility Live Asia 2023	Pioneering Smart City Development in Asia: Lessons Learned from Ground-Up Initiatives	Atsushi Fukuda	23年10月

The 8th International Conference on: Urban Planning & Architectural Design for Sustainable Development (公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	Quantitative Analysis of Compact Cities for Maintaining Urban Living Levels under Population Decline Focused on Different Concepts of Urban Aggregation	Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda	23年10月
	アクティビティに基づく交通需要推計手法を用いた洪水発生時の交通分野の適応策の評価に関する研究	積田典泰, Ratthanaporn Kaewkluengklomm, Sideney Schreiner, Sittha Jaensirisak, 福田 敦	23年11月
第35回日本道路会議 (公社)日本交通政策研究会 交通政策の空間的応用一般均衡 (SCGE) 分析シンポジウム～EBPM (エビデンスに基づく政策立案) への適用～	海外市場の変化を踏まえた道路インフラの国際展開について 交通生産内生型 SCGE モデルの今後の展望	福田 敦 福田 敦	23年11月 23年11月
第67回理工学部学術講演会	バンコク MRT イエローラインに並行する路線バスの利用実態調査	渡邊柁介 片岡航太 南 晴貴 佐藤啓富 菅野拓海 高波 薫 山本 周 劉 錚 石坂哲宏 菊池浩紀 積田典泰 佐伯章吾	23年11月
第67回理工学部学術講演会	設計基準の比較によるタイのラウンドアバウトの設計基準における問題点の把握	荒川翔吾 福田 敦 積田典泰 菊池浩紀	23年11月
第67回理工学部学術講演会	久寺家地区における避難行動の課題	石坂哲宏 仲村成貴 井本佐保里 山中新太郎 安田陽一 長谷部 寛 山口雪菜 中林 諒	23年11月
第67回理工学部学術講演会	LSTM を用いた Macroscopic Fundamental Diagram による交通状態推定： —アメリカ・カリフォルニアのフリーウェイを対象として	田中聡紀 石坂哲宏	23年11月
7th Conference of Transportation Research Group of India (CTRG-2023)	Impact of Providing Autorickshaw Feeder Service and Booking & Payment Functions in Navigation Apps on CO ₂ Emission Reduction in Ahmedabad, India	Tetsuhiro Ishizaka, Shaik Mohammed, Asif Nawaz	23年12月
日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター (NU-CAR) 第4回学生研究発表会	プリンス・オブ・ソククラ大学内のラウンドアバウトにおける車両の走行軌跡を用いた安全性の分析	荒川翔吾 積田典泰	24年 2月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	避難行動要支援者の避難に関する実態把握と自動車による避難の検証	岸紗也都 大川友也 石坂哲宏	24年 3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	公共交通沿線における都市機能施設の充実度の実態把握と都市規模との関係性の分析	山保寛奈 菊池浩紀 福田 敦 石坂哲宏	24年 3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	UAV 動画を用いた U ターン車両と対向車の走行軌跡抽出による衝突リスク評価	中田吉紀 石坂哲宏	24年 3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	ドライビングシミュレーターを用いた道路冠水情報提供時の運転挙動の解析	清水敬仁 石坂哲宏	24年 3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	ビッグデータを活用したスピードバンプの速度抑制効果と効果的な設置間隔に関する研究	酒井大翔 福田 敦	24年 3月
56th CIECA Congress 2024	Social Implementation of Information-Sharing Road Safety Measures: Case Study of Thailand	Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda, Satoru Kobayakawa, Tuenjai Fukuda, Kunimichi Takada, Jatupon Thepmangkorn	24年 3月
空間情報研究室 (佐田達典 教授・江守 央 准教授)			
■審査論文			
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 34巻 pp.45-56	MMS により計測したトンネルの3次元点群に輪郭抽出手法を適用したうきの自動検知に関する研究	山下翔雅 山口裕哉 岡本直樹 岩上弘明 佐田達典 江守 央	23年 8月

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 34巻 pp.99-108	モバイル端末搭載 LiDAR による取得データに計測時の照度が及ぼす影響	江守 央 佐田達典	中條智貴	23年 8月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 34巻 pp.109-119	位相差方式レーザスキャナを搭載した MMS での計測時にノイズが発生する素材条件と入射角度に関する研究	加藤創大 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	23年 8月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 34巻 pp.121-132	MMS における GNSS/IMU の複数衛星系併用による走行軌跡の比較検証	田村悠太郎 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	23年 8月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 34巻 pp.133-143	QZSS のセンチメートル級測位補強サービスにおける自動車走行速度に着目した測位精度検証	飯塚洸貴 佐田達典	山田 真 江守 央	23年 8月
(公社)土木学会 土木学会論文特集号 (土木情報学) 80巻22号	PS 方式レーザスキャナ搭載 MMS で取得した路側模擬標識の点群データにノニウスジャンプが発生する条件に関する研究	加藤創大 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	24年 3月
(公社)土木学会 土木学会論文特集号 (土木情報学) 80巻22号	QZSS の CLAS における再初期化後の測位解の時間変化に関する検討	飯塚洸貴 佐田達典	田村悠太郎 江守 央	24年 3月
■口頭発表				
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	MMS の GNSS/IMU における衛星系の組み合わせによる車両旋回時の走行軌跡の比較検証	田村悠太郎 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	23年 9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	QZSS のセンチメートル級測位補強サービスにおける自動車走行時の測位特性に関する研究	飯塚洸貴 入倉 望 江守 央	山田 真 佐田達典	23年 9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	位相差方式レーザスキャナを搭載した MMS による路側距離標の計測時にノイズが発生する条件に関する研究	加藤創大 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	23年 9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	バリアチェックへの活用に向けたモバイル端末 LiDAR の精度に関する研究	中村祐太 佐田達典	江守 央	23年 9月
(公社)土木学会 第48回土木情報学シンポジウム	位相差方式レーザスキャナ MMS での路側ターゲットの計測時にノイズが発生する条件の研究	加藤創大 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	23年 9月
(公社)土木学会 第48回土木情報学シンポジウム	QZSS の CLAS における再初期化後の測位解の安定性に関する検証	飯塚洸貴 佐田達典	田村悠太郎 江守 央	23年 9月
(公社)土木学会 第48回土木情報学シンポジウム	MMS における GNSS の複数衛星系併用による 3次元点群データの比較検証	田村悠太郎 岡本直樹 佐田達典	山口裕哉 岩上弘明 江守 央	23年 9月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第26回全国大会	モバイル端末を用いた計測点群のバリアチェックへの活用に関する研究	中村祐太 佐田達典	江守 央	23年10月
(公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	モバイル端末を活用したまち歩き点検を想定したバリア等計測の精度に関する検証	中村祐太 佐田達典	江守 央	23年11月
第67回理工学部学術講演会	バリアチェックを想定したモバイル端末 LiDAR を用いた傾斜部の再現精度の検証	中村祐太 佐田達典	江守 央	23年11月
第67回理工学部学術講演会	MMS により計測した路面の点群データにおけるノイズ除去方法の比較	小暮佑亮 室井和弘 佐田達典	岡本直樹 岩上弘明 江守 央	23年11月
第67回理工学部学術講演会	QZSS が提供するセンチメートル級測位補強サービスにおける森林部での精度検証	高橋秀昌 江守 央	佐田達典 田村悠太郎	23年11月
第67回理工学部学術講演会	VRS 測位における複数衛星系の併用効果に関する研究	大野木華 江守 央	佐田達典 田村悠太郎	23年11月
第67回理工学部学術講演会	MMS における GPS 衛星単独使用による 3次元点群データの比較検証	田村悠太郎 室井和弘 佐田達典	岡本直樹 岩上弘明 江守 央	23年11月
第67回理工学部学術講演会	QZSS の CLAS における再初期化後の測位解の安定性に関する基礎的な検証	飯塚洸貴 江守 央	佐田達典	23年11月

第67回理工学部学術講演会	PS 方式レーザスキャナ搭載 MMS における路側ターゲットのノニウスジャンプ補正方法に関する研究	加藤創大 室井和弘 佐田達典	岡本直樹 岩上弘明 江守 央	23年11月
第67回理工学部学術講演会	歩行者空間での位置計測を想定した低コスト GNSS 受信機の性能評価	井上義仁 佐田達典	江守 央 田村悠太郎	23年11月
交通計画研究室 (小早川 悟 教授・積田典泰 助手)				
■著書				
(公社)日本交通政策研究会	日交研シリーズ A-880 単路部無信号横断歩道における車両の譲りを促す情報提供に関する研究	小早川悟 吉村暢洋		23年12月
■審査論文				
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会論文集 pp.297-304	生活道路における AI 画像解析システムを用いたデータ収集手法に関する研究	岡本悠希 菅原宏明	小早川悟 菊池恵和	23年 8月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会論文集 pp.197-203	自動運転車の混在が駐車場出入口における交通流の円滑性に与える影響分析	加藤 裕 田部井優也	小早川悟	23年 8月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会論文集 pp.375-382	歩行者優先を促すための閃光灯を付加した横断施設に関する実験的研究—宮城県仙台市の単路部無信号横断歩道を対象として—	吉村暢洋	小早川悟	23年 8月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会論文集 pp.753-760	建築物の立地特性から見た附置義務駐車施設への隔地距離が駐車場集約化に与える影響	山本聡志 田部井優也	小早川悟	23年 8月
AIP Conference Proceedings 2639 (1)	Evaluating Impacts of Road Pricing and Teleworking Policy in Jakarta Metropolitan Area by Analyzing Activity Pattern	Rizky Wahyulinata, Noriyasu Tsumita, Sideney Schreiner, Atsushi Fukuda		23年 8月
Elsevier BV IATSS Research 47巻 3 号 pp.416-431	GIS-based identification and analysis of suitable evacuation areas and routes in flood-prone zones of Nakhon Si Thammarat municipality	Piyapong Suwanno, Chaiwat Yaibok, Thaksakorn Pornbunyanon, Chollada Kanjanakul, Chayanat Buathongkhue, Noriyasu Tsumita, Atsushi Fukuda		23年10月
■口頭発表				
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	集約駐車場への隔地距離が駐車施設の集約化に与える影響の分析—東京都中央区東京駅前地区を対象として—	山本聡志	小早川悟	23年 9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	幹線道路の平均旅行速度と生活道路のエリア内における交通事故の相関分析	行武颯斗	小早川悟	23年 9月
The 15th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies	Study on Traffic Demand Forecasting under Riverine Flooding by Activity Based Model-The Case Study of Ubon Ratchathani, Thailand-	Noriyasu Tsumita, Sideney Schreiner, Ratthanaporn Kaewkluengklo, Sitha Jaensirisak, Atsushi Fukuda		23年 9月
日本環境共生学会 第26回学術大会	Understanding How Residents Change Their Activity to Adapt Urban Flood Situation in Cagayan de Oro, Philippines	Shogo Saeki, Noriyasu Tsumita, Alexis M. Fillone, Anabe A. Abuzo, Atsushi Fukuda		23年 9月
日本環境共生学会 第26回学術大会	Estimation of Riverine Flooding Situation by Logistic Regression Analysis in Ubon Ratchathani, Thailand	Noriyasu Tsumita, Suwanno Piyapong, Ratthanaporn Kaewkluengklo, Sitha Jaensirisak, Atsushi Fukuda		23年 9月

Asian Transportation Research Society The 16th ATRANS Annual Conference: Young Researcher's Forum 2023	Understanding Problems of Design Standard of Roundabouts in Thailand Using Comparison of Standards	Shogo Arakawa, Noriyasu Tsumita, Hiroki Kikuchi, Pramet Luathep	23年9月
(公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	アクティビティに基づく交通需要推計手法を用いた洪水発生時の交通分野の適応策の評価に関する研究	積田典泰, Ratthanaporn Kaewklengkrom, Sideney Schreiner, Sittha Jaensirisak, 福田 敦	23年11月
(公財)天野工業技術研究所 第6回天野フォーラム 第67回理工学部学術講演会	東南アジア諸国における都市洪水の発生に対する適応策の評価に関する研究—主にアクティビティの変化に着目して— 設計基準の比較によるタイのラウンドアバウトの設計基準における問題点の把握	積田典泰 荒川翔吾 福田 敦 積田典泰 菊池浩紀	23年11月 23年11月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）			
(一社)全日本駐車協会 Parking	駐車需要は派生的需要	小早川悟	23年10月
(公財)都市計画協会 新都市 vol.78, No. 3	コンパクト・プラス・ネットワークの駐車政策	小早川悟	24年3月
道路マネジメント研究室（下川澄雄 教授・青山恵里 助手）			
■審査論文			
(一財)土木研究センター 土木技術資料 65巻6号 pp. 8-11	無信号交差点における従道路側流入部の交通容量算出方法の改善に向けた研究	茂田健吾 青山恵里 河本直志 松本幸司	23年6月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会論文集 pp.427-434	道路施設点検における故障予知に関する一考察	吉岡慶祐 掛上寛希 桑原雅夫 下川澄雄 水谷大二郎 川崎洋輔 佐津川功季	23年7月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会論文集 pp.553-558	踏切の停止線を通過する車両の車頭間隔と飽和交通流率の分析	本間裕洋 下川澄雄 吉岡慶祐 青山恵里	23年7月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集10巻1号 pp.A_132-A_138	踏切の停止線を通過する車両の車頭時間と飽和交通流率に関する研究	本間裕洋 下川澄雄 吉岡慶祐 青山恵里	24年2月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第67回土木計画学研究発表会	道路ネットワークの利用の適切性評価に関する評価指標の検討および試算	青山恵里 河本直志 茂田健吾 松本幸司 松本浩和 片山慎太郎	23年6月
(公社)土木学会 第67回土木計画学研究発表会	都市間高速道路のリニューアルプロジェクトにおける交通影響評価の現状と課題	山本 隆 後藤 誠 野中康弘 山田純也 下川澄雄	23年6月
The 16th World Conference on Transport Research	Reductions in saturation flow rates at signalized intersections in Tokyo	Eri Aoyama, Sumio Shimokawa, Keisuke Yoshioka	23年7月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会	道路施設点検における故障予知に関する一考察	吉岡慶祐 掛上寛希 桑原雅夫 下川澄雄 水谷大二郎 川崎洋輔 佐津川功季	23年8月
(一社)交通工学研究会 第43回交通工学研究発表会	踏切の停止線を通過する車両の車頭時間と飽和交通流率の分析	本間裕洋 下川澄雄 吉岡慶祐 青山恵里	23年8月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	通行機能が期待される多車線道路の種級区別性能曲線の提示	青木優汰 下川澄雄 吉岡慶祐	23年9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	暫定2車線高速道路の単路部自由流時における車両挙動に関する考察	吉村将揮 下川澄雄 吉岡慶祐	23年9月
第35回日本道路会議	暫定2車線高速道路の単路部自由流時における車両挙動に関する考察	吉村将揮 下川澄雄 青山恵里	23年11月

第35回日本道路会議	通行機能が期待される多車線道路の種級区別性能曲線の提示	青木優汰 下川澄雄 青山恵里	23年11月
第35回日本道路会議	沿道出入交通が幹線道路の旅行速度に与える影響に関する考察	河本直志 土肥 学 松本幸司 青山恵里 茂田健吾	23年11月
(公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	性能照査型道路計画設計手法の実用展開に向けて	中村 悟 内海泰輔 阿部義典 神戸信人 下川澄雄	23年11月
(公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	通行機能が期待される道路の種級区別の性能曲線の提示	青木優汰 下川澄雄 青山恵里 吉岡慶祐	23年11月
(公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	道路の交通容量に関する研究レビューと今後の展望	泉 典宏 青山恵里 石田貴志 柿元祐史 近田博之 張 馨 吉岡慶祐 野中康弘 喜多秀行	23年11月
(公社)土木学会 第68回土木計画学研究発表会	道路交通のサービスの質と評価指標の構造に関する一考察—指標に関する研究レビューと概念整理を通して—	張 馨 井料美帆 吉岡慶祐 青山恵里 柿元祐史	23年11月
第67回理工学部学術講演会	観光交通が卓越した信号交差点における飽和交通流率の分析	青山直暉 下川澄雄 青山恵里	23年11月
第67回理工学部学術講演会	2車線道路直進車線における飽和交通流率に関する研究	加藤玲佳 下川澄雄 青山恵里	23年11月
第67回理工学部学術講演会	わが国の高速道路インターチェンジへのアクセシビリティに関する分析	田中優磨 下川澄雄 青山恵里	23年1月
第67回理工学部学術講演会	信号交差点における飽和交通流率の経年変化に関する分析	鈴木裕太 下川澄雄 青山恵里	23年11月
第67回理工学部学術講演会	踏切の停止線を通過する車両の車頭時間と飽和交通流率に関する分析	本間裕洋 松岡陸叶 下川澄雄 青山恵里	23年11月
第67回理工学部学術講演会	通行機能が期待される多車線道路の種級区別性能曲線の提示	青木優汰 下川澄雄 青山恵里	23年11月
第67回理工学部学術講演会	高速道路リニューアルプロジェクトによる工事規制にともなう交通状態に関する分析	山田純也 下川澄雄 青山恵里 中林 悠	23年11月
第67回理工学部学術講演会	暫定2車線高速道路の単路部自由流時における車両挙動に関する考察	吉村将揮 下川澄雄 青山恵里	23年11月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	2車線道路直進車線における飽和交通流率に関する研究	加藤玲佳 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	踏切における飽和交通流率と幾何構造との関係分析	松岡陸叶 本間裕洋 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	観光交通が卓越した信号交差点における飽和交通流率の分析	青山直暉 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	高速道路リニューアル工事における渋滞発生時の到着需要分析	大島永智 山田純也 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	2車線道路のサービス速度に対する影響要因に関する考察	中島 希 青木優汰 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	わが国の高速道路のインターチェンジへのアクセシビリティに関する分析	田中優磨 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	左折専用車線の交通容量算出時に用いる飽和交通流率に関する研究	鈴木敦大 下川澄雄 青山恵里	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	信号交差点における直進車線の飽和交通流率の経年変化に関する分析	鈴木裕太 下川澄雄 青山恵里	24年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）			
(公社)日本道路協会 道路 Vol.92 pp.18-21	道路計画・設計の現状と課題—「つくる」から「つかう」時代の道路計画・設計—	下川澄雄	23年11月

鉄道構造研究室 (谷口 望 教授・齊藤準平 准教授・関口 穂 助手)

■審査論文

(公社)土木学会 土木学会論文特集号(複合構造) 79巻14号	複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響 —材料と構造の新たな境界問題—	複合構造委員会, 複合構造におけるコン クリートの収縮, クリープの影響に関す る研究小委員会	23年5月
(公社)日本工学教育協会 工学教育 71巻3号 pp.3_51-3_56	橋梁設計用フリーウェアの力学教育への導入の有効性	齊藤準平	23年5月
(公社)日本コンクリート工学会 コンクリート工学年次論文集45	ヒューズ機構を有する仮橋脚構造に用いるモルタルヒューズ の耐荷特性に関する研究	関口 穂 小林 薫 谷口 望	23年7月
ce/papers - Proceedings in civil engineering 6巻45387号 pp.2249-2253	Measures to Improve Seismic Resistance by Fuse Mechanism in Pier Structures	Minoru Sekiguchi, Nozomu Taniguchi, Kaoru Kobayashi	23年9月
Proceedings of International Structural Engineering and Construction Innovative Theory and Practices in Structural Engineering and Construction 10巻1号	ASSESSMENT OF THE INTEGRITY OF STEEL RAILROAD BRIDGES RENEWED WITH POLYMER CEMENT AFTER 10 YEARS	Minoru Sekiguchi, Nozomu Taniguchi	23年9月
Korean Society of Steel Construction The 12th in the International Symposium on Steel Structures	Evaluation of Load Carrying Capacity of Mortar Fuse for Temporary Bridge Pier Structure with Fuse Mechanism	Minoru Sekiguchi, Nozomu Taniguchi, Kaoru Kobayashi	23年11月
(公財)高速道路調査会 高速道路と自動車 11巻 pp.42-45	床版取換えに適した鋼-コンクリートずれ止め構造を用い た弾性合成桁に関する研究	谷口 望	23年11月
(一社)セメント協会 セメント・コンクリート論文集 Vol.77 (in print)	弾性限度内外の圧縮応力の継続付与を受けたモルタルの塩 分浸透特性	齊藤準平	24年3月
(公社)土木学会 構造工学論文集 A Vol.70A (in print)	全国の道路橋の健全度に影響を与える地理・気象条件・交 通状況の要因分析	齊藤準平	24年3月

■口頭発表

(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	斜角を有する鋼鉄道橋の設計に関する研究	菅野允陽 谷口 望 植松寛喜 関根賢一	23年9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	地下鉄箱型トンネルの見掛けの拡散係数を用いた塩害劣化 予測に関する考察	渡辺貞之 関口恵生 諸橋由治 齊藤準平	23年9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	53年間使用した南砂町駅の軌道部側壁の採取コアを用いた 塩害に関する研究	班 鈞豪 大澤 篤 渡辺貞之 吉岡悠生 齊藤準平	23年9月
(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	構造形式の違いに着目した健全性診断結果と環境・気象・ 交通状況の関係分析	齊藤準平 高橋悠馬	23年9月
(公財)高速道路調査会 令和5年度研究発表会	床版取り換えに適した鋼-コンクリートずれ止め構造を用 いた弾性合成桁に関する研究	谷口 望	23年10月
第67回理工学部学術講演会	スランプが異なるコンクリートのバイブレーターの締め固め 時間と粗骨材の増減率との関係	郭 孝塵 班 鈞豪 齊藤準平	23年11月
第67回理工学部学術講演会	コンクリートを用いて製作したカヌーの特徴とその性能に ついて—2023年度の活動—	稲江 旦 齊藤準平	23年11月
第67回理工学部学術講演会	ポーラスコンクリートの反り現象に関する研究 —水分の吸収と発散の挙動—	近藤司希 高田航輝 齊藤準平	23年11月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	道路橋の横荷重が作用した際の床版と主桁の荷重分担率に 対する材料非線形性の影響	菅野允陽 谷口 望 寺田武志	24年3月
(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	床版取り換えに適した鋼-コンクリートずれ止め構造を用 いた弾性合成桁に関する研究	田中寛昌 谷口 望	24年3月

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	振動締め固め時間が異なるコンクリートの圧縮強度および超 音波速度	班 鈞豪 郭 孝塵 齊藤準平	24年3月
-----------------------------	-------------------------------------	-------------------	-------

■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

(公社)土木学会 土木学会誌 Vol.108 4月号 pp.50-51	土木学会関東支部「第26、27回土木学生によるコンクリー トカヌー大会」開催報告	近江健吾 齊藤準平	23年4月
---	---	-----------	-------

地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 准教授)

■著書

(公社)土木学会	舗装標準示方書 II -2.75 (pp.41~42) VI - 参考資料3 (pp.349-351)	山中光一 (共著)	23年10月
----------	---	-----------	--------

■審査論文

国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 38巻 pp.164-169	ジオセルを用いた補強路盤の応力分散範囲に関する模型実 験による検討	荒木大空 山中光一 峯岸邦夫 平野皓大	23年12月
---	--------------------------------------	------------------------	--------

(公社)土木学会 土木学会論文集 E1 (舗装工学) 79巻2号	アスファルト舗装の路床における小型 FWD 試験の多層弾 性理論による順解析	齋藤賢人 山本尚毅 山中光一 川名 太 竹内 康	24年2月
--	---	--------------------------------	-------

■口頭発表

(公社)地盤工学会 第58回地盤工学研究発表会	小型 FWD による K 値のばらつきに関する一斉試験	木幡行宏 関根悦夫 山中光一	23年7月
----------------------------	-----------------------------	-------------------	-------

(公社)地盤工学会 第58回地盤工学研究発表会	軟弱路床に用いる表面強化不織布の耐久性に及ぼす構成条 件と敷設方法の影響	荒木大空 峯岸邦夫 山中光一 野呂真一 柳沼宏始	23年7月
----------------------------	---	--------------------------------	-------

(公社)地盤工学会 地盤工学研究発表会	アルカリ活性材料による火山灰質粘性土地盤の改良	吉澤拓人 峯岸邦夫 山中光一 小泉公志郎	23年7月
------------------------	-------------------------	-------------------------	-------

(公社)土木学会 第28回舗装工学講演会	アスファルト舗装の路床における小型 FWD 試験の順解析	齋藤賢人 山本尚毅 山中光一 竹内 康	23年9月
-------------------------	------------------------------	------------------------	-------

(公社)土木学会 第28回舗装工学講演会	小型 FWD を用いた大版ブロック舗装の支持力評価	山中光一 峯岸邦夫 柳沼宏始	23年9月
-------------------------	---------------------------	-------------------	-------

(公社)土木学会 第78回年次学術講演会	IL ブロック舗装の支持力特性に及ぼす目地砂の影響	荒木大空 山中光一 峯岸邦夫 柳沼宏始 山田和弘	23年9月
-------------------------	---------------------------	--------------------------------	-------

(公社)地盤工学会関東支部 GeoKanto2023	ジオグリッド補強土壁の壁面挙動に及ぼす背面水位の影響	奥津 葵 峯岸邦夫 山中光一 久保哲也	23年11月
-------------------------------	----------------------------	------------------------	--------

(公社)地盤工学会関東支部 GeoKanto2023	ジオコンポジットを用いた排水材の敷設間隔の影響	深瀬知喜 峯岸邦夫 山中光一 久保哲也	23年11月
-------------------------------	-------------------------	------------------------	--------

第67回理工学部学術講演会	透水性舗装のフィルター層に用いる強化ジオテキスタイル の耐久性に及ぼす目付量の影響	千葉早苗 峯岸邦夫 山中光一 野呂真一 柳沼宏始	23年11月
---------------	--	--------------------------------	--------

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	小型 FWD 装置による原地盤の計測結果に関する一考察	伊田優史 山中光一 峯岸邦夫	24年3月
-----------------------------	-----------------------------	-------------------	-------

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	ジオテキスタイルを用いて補強した路床の剛性評価	岡崎智也 山中光一 峯岸邦夫	24年3月
-----------------------------	-------------------------	-------------------	-------

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	小型 FWD 装置におけるゴムパフファのバネ値が計測結果 に与える影響	本田宥士 山中光一 峯岸邦夫 柳沼宏始	24年3月
-----------------------------	--	------------------------	-------

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	大版ブロック舗装の支持力特性に及ぼす強化板サイズと目 地深さの影響	鳥海達太郎 山中光一 峯岸邦夫 柳沼宏始	24年3月
-----------------------------	--------------------------------------	-------------------------	-------

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	短繊維を混合した石灰安定処理土の膨張抑制効果および支 持力特性	梅澤一郎 峯岸邦夫 山中光一	24年3月
-----------------------------	------------------------------------	-------------------	-------

(公社)土木学会 第51回関東支部技術研究発表会	正方形型大版ブロック舗装の支持力特性	布施 凌 山中光一 峯岸邦夫 柳沼宏始	24年3月
-----------------------------	--------------------	------------------------	-------

社会的活動

2023. 4. 1～2024. 3. 31

■伊東英幸 教授

(公社)土木学会 関東支部企画部会 幹事

(公社)土木学会 関東支部60周年記念式典 WG 委員

環境アセスメント学会 理事

環境アセスメント学会 第22回大会実行委員会 委員

環境アセスメント学会 企画委員会 委員

環境アセスメント学会 企画委員会アセス検定 WG (リーダー) 委員

環境アセスメント学会 企画委員会小冊子WG 委員

環境アセスメント学会 学会設立20周年記念事業特別委員会 委員

環境アセスメント学会 学術委員会 委員

環境アセスメント学会 生態系研究部会 委員

環境アセスメント学会 若手研究会 会長

日本環境共生学会 理事

日本環境共生学会 学術・研究委員会 委員

日本環境共生学会 環境共生推進小委員会 委員

日本システム・ダイナミクス学会 理事(事務局長)

International Journal of GEOMATE (Geotechnique, Construction Materials and Environment), Review Board Member

国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 千葉北西連絡道路地元検討会 委員

国土交通省関東地方整備局東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員

千葉県 環境審議会 委員

千葉県 環境審議会 大気環境部会 委員

千葉県 自動車排出窒素酸化物総量削減計画等策定協議会 委員

山梨県 環境影響評価等技術審議会 委員

山梨県 太陽光条例環境及び景観に及ぼす影響の評価等アドバイザー 委員

千葉市 地域公共交通部会 副部長

成田市 地域公共交通網形成協議会 委員

成田市 地域公共交通網形成協議会交通事業分科会 会長

柏市 交通政策審議会 委員

柏市 地域公共交通部会 委員

富里市 地域公共交通会議 副部長

富里市 地域公共交通計画策定支援業務委託事業者選定委員会 委員

横芝光町 地域公共交通会議 委員

芝山町 地域公共交通会議 委員

鎌ヶ谷市 緑の基本計画検討委員会 副委員長

名古屋市 なごや生物多様性保全活動協議会 委員

■小早川 悟 教授

(公社)日本交通政策研究会 地方都市の中心市街地における荷捌き駐車施設の配置に関する研究 委員

(公財)国際交通安全学会 褒賞助成部会企画委員会 委員

(公財)国際交通安全学会 英文論文編集委員会 委員

(公財)国際交通安全学会 H2303A プロジェクト「無信号横断歩道における車両の譲りを促すための実証的研究」プロジェクトリーダー

(一社)交通工学研究会 道路安全診断小委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計 計算ソフト検討小委員会 委員長

日本システム・ダイナミクス学会 副会長

国土交通省都市局 まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会 委員

警察庁科学警察研究所 特別研究員

警視庁交通部 観光バス駐車対策分科会 会長

千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員

東京都市圏交通計画協議会 東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会 委員

東京都都市整備局 物流関係者連絡会 会長

千葉県 大規模小売店舗立地審議会 専門委員

港区 駐車場地域ルール運用協議会 会長

渋谷区 地域公共交通会議 会長

渋谷区 駐輪場配置計画検討会 会長

世田谷区 下北沢周辺駐車場地域ルール策定協議会 会長

千代田区 内幸町地域ルール策定協議会 会長

中央区 銀座地区交通環境改善協議会 委員

中央区 東京駅前地区駐車場地域ルール運営委員会 副会長

目黒区 自由が丘駅周辺駐車場地域ルール策定協議会 会長

立川市交通対策課 立川駅ターミナル連絡会 会長

鎌ヶ谷市 地域公共交通会議 会長

佐倉市 地域公共交通会議 副会長

四街道市 自転車計画協議会 会長

松戸市 交通ビッグデータ見える化協議会 会長

船橋市 交通ビッグデータ見える化協議会 副会長

■佐田達典 教授

(公社)日本測量協会 理事

(公社)日本測量協会 電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会 会長

(公社)日本測量協会 応用測量論文集編集委員会 委員長

(公社)日本測量協会 測量近代化研究会 委員長

(公社)土木学会 土木情報学委員会 常任委員

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画運営委員会 委員

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 事業委員会 委員長

(一財)日本建設情報総合センター 理事

(一財)道路管理センター 評議員

国土交通省国土地理院 測量行政懇談会 副委員長

国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員長

国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術研究開発評価委員会 委員

国土交通省総合政策局 歩行空間の3次元地図ワーキンググループ 座長

国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競争有識者委員会 委員

国土交通省関東地方整備局企画部施工企画課 新技術活用評価会議 委員

国土交通省関東地方整備局関東技術事務所 第16期建設技術展示館審査委員会 委員長

■下川澄雄 教授

(公社)日本道路協会 第35回日本道路会議論文・企画委員会 委員

(一社)日本建設業経営協会 相談役

(公財)国際交通安全学会 日本型ラウンドアバウトの普及促進に向けての調査研究会 委員

(一財)国土技術研究センター 道路のパフォーマンス向上に向けた検討会 委員

(一財)交通工学研究会 交通工学研究会 技術顧問

(一財)交通工学研究会 交通工学研究会 査読委員

(一財)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 委員長

(一財)交通工学研究会 日本型ラウンドアバウトの普及促進に向けての調査研究会 委員

(一財)交通工学研究会 JSTE シンポジウム運営小委員会 委員長

(一財)交通工学研究会 名古屋ガイドウェイバスのバス専用道化検討会 委員

(一財)交通工学研究会 ラウンドアバウトの計画・設計・交通運用に関する研究会 委員

(一財)東亜道路工業協奏財団 理事

国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所 静岡県災害時交通マネジメント検討会 委員

静岡県 美しいふじのくにインフラビジョン推進会議 委員

静岡県 静岡県社会資本総合整備計画等評価アドバイザー

静岡県 ラウンドアバウト検討委員会 委員

静岡県・浜松市・湖西市 浜名湖地域振興・減災協議会 会長

(特非)浜名湖地域舟運都市構想研究所 理事・顧問

■谷口 望 教授

(公社)土木学会 複合構造委員会 委員

(公社)土木学会 複合構造委員会 複合構造標準示方書改訂小委員会 委員

(公社)土木学会 複合構造委員会 土木学会論文集特集号編集小委員会 委員

(公社)土木学会 複合構造委員会 H001シンポジウム小委員会 委員(論文推薦担当)

(公社)土木学会 応用力学委員会 委員

(公社)土木学会 応用力学委員会 応用力学論文集編集小委員会 委員

(公社)土木学会 鋼構造委員会 土木学会論文集11小委員会(A1分冊) 委員

(公社)土木学会 構造工学委員会 構造工学論文集編集小委員会第7部門 委員

(公社)土木学会 特別上級土木技術者資格小委員会 設計部門部門主査

(公社)土木学会 上級土木技術者資格小委員会 設計分野 部門主査

(公社)土木学会 1級土木技術者資格小委員会 鋼およびコンクリート分野 部門幹事

(公社)土木学会 2級土木技術者資格小委員会 構造 WG 主査

(公社)土木学会 関西支部 安価で確実な鋼橋の長寿命化対策に関する調査研究委員会 委員

鋼橋技術研究会 鋼橋の性能設計手法に関する検討部会 部会長

鋼橋技術研究会 40周年記念事業実行委員会 委員長

松戸市 建設工事総合評価 委員

■轟 朝幸 教授

(公社)土木学会 技術推進機構 技術者教育プログラム審査委員会 委員

(一社)国土政策研究会 会誌編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 出版委員会 委員長

国土交通省 交通政策審議会航空分科会技術・安全部会 臨時委員

国土交通省 交通政策審議会航空分科会事業評価小委員会 委員

国土交通省航空局 空港における自然災害対策に関する検討委員会検討委員会 委員

国土交通省航空局 空港受入環境高度化支援ウィズコロナ補助金有識者委員会 委員

国土交通省航空局 空港分野におけるCO ₂ 削減に関する検討会 委員	(一社)計画交通研究会 監事
国土交通省航空局 空港技術懇話会 委員	(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 監事
国土交通省関東運輸局 地域公共交通確保維持改善事業第三者 評価委員会 委員	(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 認定・事業委員会 委員
東京都 東京都における地域公共交通の在り方検討会 座長	(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 国際委員会 委員
東京都 交通安全対策会議 委員	(一社)海外運輸協力協会 アドバイザー
東京都 グループ連携事業評価 委員	EASTS-Japan 理事
千葉県 県土整備公共事業評価審議会 会長	日本システム・ダイナミクス学会 顧問
千葉県 入札監視委員会 委員長	日本環境共生学会 会長・常務理事
千葉県 建設工事総合評価 委員	Asia Transportation Research Society, Honorable Advisor
千葉県 成田スマートIC地区協議会 会長	(独法)国際協力機構 開発途上国における交通安全プロジェクト 課題別支援委員会 委員
千葉県 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関 する検証小委員会 委員長	(独法)国際協力機構 開発途上国における都市鉄道プロジェク ト 課題別支援委員会 委員
大阪府・兵庫県・和歌山県 新飛行経路案に係る環境検証委員 会 委員	(独法)国際協力機構 タイ国「交通安全に関する組織能力およ び実施能力向上プロジェクト」 アドバイザー
沖縄県 下地島空港及び周辺用地の利活用促進事業検討委員会 委員	(独法)国際協力機構 タイ国「バンコク首都圏都市鉄道新マス タープラン(M-MAP2)策定能力向上プロジェクト」 アド バイザー
葛飾区 都市計画マスタープラン策定委員会 委員	(株)New Space Intelligence 顧問
葛飾区 地域公共交通会議 委員長	国土交通省 国際建設関連業務に係る企画競争有識者委員会 委員長
葛飾区 新金線旅客化検討委員会 幹事長	国土交通省 日本アセアン道路交通安全共同調査 アドバイ ザー
千葉市 新基本計画審議会 会長	千葉市 都市計画審議会 委員
千葉市 地域公共交通活性化協議会 委員長	千葉市 高度地区アドバイザー
鎌ヶ谷市 企業誘致推進協議会 委員	千葉市 都市計画道路 磯辺茂呂町線(園生町)みちづくり協 議会 座長
松戸市 松戸駅周辺まちづくり委員会 委員	八千代市 都市計画審議会 委員
船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員	八千代市 都市計画道路整備プログラム検討会議 委員
富里市 地域公共交通活性化協議会 副会長	■峯岸邦夫 教授
山武市 地域公共交通活性化協議会 副会長	(公社)土木学会 技術者教育プログラム審査委員会 副委員長
成田市 地域公共交通網形成協議会 副会長	(公社)土木学会 キッズプロジェクト検討小委員会 幹事
木更津市 地域公共交通活性化協議会 会長	(公社)地盤工学会 関東支部 副支部長
大網白里町 地域公共交通活性化協議会 会長	(公社)地盤工学会 関東支部 表彰委員会 委員
成田空港地域振興連絡協議会 成田空港地域共生・共栄会議 副会長	(公社)地盤工学会 関東支部 発表会グループ リーダー幹事
成田国際空港株式会社 『新しい成田空港』構想検討会 委員	(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事
成田国際空港株式会社 サステナブルNRT推進協議会 委員	(一社)日本技術者教育認定機構 基準委員会 委員
熊本国際空港株式会社 第三者モニタリング委員会 委員	(一社)日本技術者教育認定機構 基準総合調整委員会 委員
いすみ鉄道株式会社 全国いすみ鉄道支店長制度 日大交通シ ステム工学科支店長	国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事
■福田 敦 教授	国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会 委員長
(公社)土木学会 関東支部 幹事	国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会 委員長
(公財)国際交通安全学会 顧問	
(一社)交通工学研究会 理事	

国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会 委員長	国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会 副委員長
国土交通省関東地方整備局東京国道事務所 総合評価審査分科 会 委員	国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所 総合評 価審査分科会 委員
船橋市 一般競争入札【総合評価型】委員会 学識委員	千葉市 宅地耐震化推進事業技術 学識委員

■石坂哲宏 准教授

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事	(公社)土木学会 国際学術交流基金管理委員会 幹事長
(公社)土木学会 土木計画学委員会学術小委員会 委員	(一社)交通工学研究会 JSTE シンポジウム運営小委員会 委員
(一社)交通工学研究会 事業委員会 委員	(一社)交通工学研究会 タスクフォース2 委員
(一社)交通工学研究会 タスクフォース TF-WEBSITE 委員長	(一社)計画・交通研究会 幹事会 幹事
(独法)都市再生機構 工事中交通マネジメント研究ワーキング 委員	

日本自動車連盟(JAF) 千葉支部 交通安全実行委員会 委員	日本システム・ダイナミクス学会 理事
Eastern Asia Society for Transportation Studies, International Scientific Committee	
久喜市 地域公共交通会議 委員	
松戸市 交通ビッグデータ見える化協議会 副会長	

■江守 央 准教授

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェ クト検討小委員会 委員長	(公社)土木学会 関西支部 バリアフリー計画学研究会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事	(一社)日本福祉のまちづくり学会 文化財・世界遺産のアクセ シビリティ特別研究委員会研究委員会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 国際委員会 委員長	(一社)日本福祉のまちづくり学会 2023年度全国大会(宇都宮) 実行委員会 企画・運営・渉外・広報委員会 副委員長
国土交通省総合政策局 歩行空間の移動円滑化データワーキン ググループ 構成員	
東京都建設局公園緑地部 バリアフリー日比谷公園プロジェク トワークショップ委員会 委員	

大田区 移動円滑化推進協議会 副委員長	渋谷区 バリアフリー推進協議会 副会長
豊島区 バリアフリー推進協議会 副会長	

新宿区 移動等円滑化促進方針推進協議会 副会長	杉並区 バリアフリー推進連絡会 学識経験委員
三鷹市 バリアフリーのまちづくり推進協議会 副会長	府中市 移動等円滑化促進方針等推進協議会 会長
鎌ヶ谷市 福祉有償運送運営協議会 会長	船橋市 都市再生整備計画事業事後評価委員会 副委員長
八千代市 福祉有償運送運営協議会 会長	横浜市 バリアフリー検討協議会 港北区部会 部会長

■齊藤準平 准教授

(公社)日本コンクリート工学会 コンクリート工学編集委員会 委員	(公社)土木学会 総務部門 技術功労賞選考委員会 幹事長
(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査	(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 幹事
鎌ヶ谷市 建設工事総合評価委員	

■山中光一 准教授

(公社)地盤工学会 関東支部 支部発表会グループ 委員	(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事
(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内 委員会 委員	(公社)地盤工学会 公益出版部会 部員
(公社)地盤工学会 公益出版部会出版事業グループ 委員	(公社)土木学会 全国大会委員会 第Ⅲ部門委員 委員
(公社)土木学会 全国大会委員会 第Ⅲ部門委員 委員	(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会 委員
(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会 路床路 盤分科会 幹事	(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装標準示方書改定小委員 会 委員
(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装標準示方書改定小委員 会 設計分科会 委員	(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装標準示方書改定小委員 会 付録・参考資料分科会 委員
(公社)土木学会 土木学会論文集編集小委員会 52小委員会 幹事	

ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技 術情報誌編集委員会 委員	(特非)舗装診断研究会 舗装構造評価委員会 委員
(特非)舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 委員	(特非)舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 小型FWD 検証分科会 委員

■菊池浩紀 助教

(公社)土木学会 関東支部 広報部会 幹事

■菊池浩紀 助教

講師：タイ国交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト／(独法)国際協力機構／日本大学理工学部船橋キャンパス 2023.11.10-15

講師：第2回基礎講習会「マイクロ交通シミュレーションの基礎と応用」／日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター／日本大学生産工学部津田沼キャンパス 2024.1.23

司会：Symposium on Adaptation Measures for Transport Systems to Urban Flooding - The Case Study of Asian Cities／日本大学理工学部, EASTS Japan, 日本環境共生学会／日本大学理工学部駿河台キャンパス 2024.2.17

■吉岡慶祐 助教

副座長：第43回交通工学研究発表会「交通安全(2)」／(一社)交通工学研究会／日本大学理工学部駿河台キャンパス 2023.8.8

座長：第68回土木計画学研究発表会「ラウンドアバウト：普及加速への次の一手」／(公社)土木学会／東京都立大学南大沢キャンパス 2023.11.25

パネリスト：第5回JSTEシンポジウム「ラウンドアバウトの計画・設計・交通運用に関する研究 これからの10年：さらなるRAB普及促進に必要な視点とは」「平面交差の計画・設計・制御の研究 平面信号・課題の現在位置と検討の方向性を探る」「道路の交通容量とサービスの質に関する研究 道路の性能をどう評価したらよいか」／(一社)交通工学研究会／シティホールプラザ・アオーレ長岡 2023.11.29-30

講演：International Workshop on Micro-E-Mobility／Field Observation and Behavior Analysis of E-scooters in Tokyo／International Association of Traffic and Safety Sciences (Project 2312A)／Web開催 2024.3.8

■積田典泰 助手

講師：タイ国交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト／(独法)国際協力機構／日本大学理工学部船橋キャンパス 2023.11.10-15

講演：Symposium on Adaptation Measures for Transport Systems to Urban Flooding - The Case Study of Asian Cities／日本大学理工学部, EASTS Japan, 日本環境共生学会／日本大学理工学部駿河台キャンパス 2024.2.17

海外出張

2023. 4. 1～2024. 3. 31

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
福田 敦 教授	2023年6月1日～7日／JICA「タイ国交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト」打ち合わせおよび交通状況視察／バンコク、ロブリー (タイ)
	2023年7月15日～24日／JICA「タイ国交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト」における「組織設立支援」／バンコク (タイ)
	2023年8月8日～12日／JICA「バンコク首都圏都市鉄道新マスタープラン (M-MAP2) 策定能力向上プロジェクト」におけるプラットホーム作成／バンコク (タイ)
	2023年8月21日～9月11日／ATRANS (アジア交通研究学会) 16th Annual Conference 参加、EASTS (アジア交通学会) Conference2023参加、その他／バンコク (タイ)、シャー・アラム (マレーシア)
	2023年10月31日～11月2日／MOBILITY LIVE ASIAにおけるSMART CITY LEADERS' PANEL: Pioneering Smart City Development in Asia: Lessons Learned from Ground-Up Initiativesのパネラリスト／バンコク (タイ)
小早川 悟 教授	2023年12月6日～8日／ATRANS (アジア交通研究学会) 研究プロジェクト報告会・理事会／アマタシティー (タイ)
	2024年3月20日～24日／国際交通安全学会・研究プロジェクト2311Aに関わる現地調査／バンコク (タイ)
	2024年1月6日～9日／国際交通安全学会「無信号横断歩道における車両の譲り促すための実証的研究」プロジェクトの調査／バンクーバー (カナダ)
谷口 望 教授	2024年3月20日～24日／国際交通安全学会・研究プロジェクト2311Aに関わる現地調査／バンコク (タイ)
	2023年8月14日～20日／International Structural Engineering and Construction Societyにて成果発表／シカゴ (アメリカ合衆国)
石坂哲宏 准教授	2023年11月8日～11日／The 12th International Symposium on Steel Structures organized by the Korean Society of Steel Constructionにて成果発表／チェジュ (韓国)
	2023年9月4日～7日／The 15th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studiesにて研究発表／シャー・アラム (マレーシア)

石坂哲宏 准教授 2023年8月18日～23日／科研費「インド・タイの混合交通の錯綜危険性を表現するモデルの実証的検証」に関する調査／バンコク (タイ)

2023年12月17日～21日／The 7th Conference of Transportation Research Group of India(CTRG-2023)／スラト (インド)

齊藤準平 准教授 2024年3月1日～2025年2月28日 (予定)／日本大学海外派遣研究員 (長期)／グラスゴー (英国)

菊池浩紀 助教 2023年7月16日～20日／World Conference on Transport Research 2023にて研究発表／モントリオール (カナダ)

2023年7月22日～30日／International System Dynamics Conference 2023にて研究発表／シカゴ (アメリカ合衆国)

2023年8月13日～18日／DBA Engineering Consultancyにて交通需要予測講習会／マニラ (フィリピン)

2023年9月2日～5日／The 15th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studiesにて研究発表／シャー・アラム (マレーシア)

2023年9月6日～10日／European Transport Conference 2023にて研究発表／ミラノ (イタリア)

2024年2月24日～3月1日／DBA Engineering Consultancyにて交通需要予測講習会／マニラ(フィリピン)

2024年3月5日～8日／56th CIECA Congress 2024にて研究発表／ドバイ (アラブ首長国連邦)

2024年3月20日～24日／国際交通安全学会・研究プロジェクト2311Aに関わる現地調査／バンコク (タイ)

吉岡慶祐 助教 2023年8月13日～26日／(公財)国際交通安全学会2330海外調査プロジェクト：未来の都市の交通及び安全に係る取り組みの調査研究「英国ラウンドアバウトの配置計画と構造に関する実態調査」／ロンドン、オックスフォード、ミルトンキーンズなど (英国)

2023年9月4日～6日／The 15th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studiesにて研究発表／シャー・アラム (マレーシア)

青山恵里 助手 2023年7月15日～21日／The 16th World Conference on Transport Research／モントリオール (カナダ)

2023年7月22日～24日／ニューヨーク州の信号交差点における道路構造・信号制御の実態調査／ニューヨーク (アメリカ合衆国)

関口 穂 助手 2023年9月11日～16日／The 10th Eurosteel Conference／アムステルダム (オランダ)

2023年11月8日～11日／The 12th International Symposium on Steel Structures／チェジュ (韓国)

積田典泰 助手 2023年8月21日～9月1日／IATSS (国際交通安全学会) 打ち合わせ及び地方行政機関へのヒアリング／バンコク、ウボンラチャタニ (タイ)

2023年9月2日～5日／The 15th International Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studiesにて研究発表／シャー・アラム (マレーシア)

2024年3月20日～24日／国際交通安全学会・研究プロジェクト2311Aに関わる現地調査／バンコク (タイ)

外部研究資金の受入状況

2023. 4. 1～2024. 3. 31

助成金名・委託元など (研究期間)	研究課題	教員名
文部科学省科学研究費 若手研究 (2023.4.1～2025.3.31)	縮小する都市におけるコンパクトシティの実現に至るための政策評価手法の構築	菊池浩紀 (代表)
文部科学省科学研究費 若手研究 (2022.4.1～2025.3.31)	交通信号機の撤去・設置判断に資する無信号交差点の交通容量評価手法の実証的検証	吉岡慶祐 (代表)
文部科学省科学研究費 基盤研究 (B) (2023.4.1～2026.3.31)	強化学習を用いた分散制御によるネットワーク信号制御の最適化に関する研究	桑原雅夫 (代表)、吉岡慶祐

文部科学省科学研究 基盤研究 (C) (2019.4.1 ~ 2024.3.31) 我が国の道路事業における動物の事故対策とその効果の推計	伊東英幸 (代表)
文部科学省科学研究費 基盤研究 (C) (2021.4.1 ~ 2024.3.31) 立地適正化計画を考慮した駐車場配置適正化のための評価方法に関する研究	小早川悟 (代表)、田部井優也
文部科学省科学研究費科学研究費 基盤研究 (C) (2022.4.1 ~ 2025.3.31) 基幹空港のアクセスにおける災害時交通マネジメントの構築	轟 朝幸 (代表)、兵頭 知、吉岡慶祐
文部科学省科学研究費科学研究費 基盤研究 (C) (一般) (2021.4.1 ~ 2024.3.31) インド・タイの混合交通の錯綜危険性を表現するモデルの実証的検証	石坂哲宏 (代表)
文部科学省科学研究費 基盤研究 (C) (2022.4.1 ~ 2026.3.31) 圧縮応力が継続または繰返し作用するコンクリート構造物の塩分浸透予測式の構築	齊藤準平 (代表)
文部科学省科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 (2020.9.11 ~ 2024.3.31) 信号交差点における飽和交通流率の基本値に関する研究	青山恵里 (代表)
中小企業経営支援等対策費補助金 (経済産業省) (2022.8.1 ~ 2025.3.31) 高速チルトウィング機の高安全性姿勢制御技術開発	轟 朝幸、兵頭 知
(一社)日本鉄鋼連盟 鋼構造研究・教育助成事業 (2023.4.1 ~ 2025.3.31) 床版取り換えを想定しサステナビリティを向上させた弾性合成桁の開発に関する研究	谷口 望 (代表)、笠野英行
研究奨励寄付金 (2023.4.1 ~ 2024.3.31) 道路の交通安全に関する研究	小早川 悟 (代表)
日本大学特別研究 (2022.4.1 ~ 2024.3.31) 「日本大学災害ソサイエティ」の構築と災害用パーソナル・アラートの研究開発	石坂哲宏、他 17 名
三井住建道路株式会社 (2023.4.1 ~ 2024.3.31) 道路マネジメントに関する研究	下川澄雄 (代表)
三井住建道路株式会社 (2023.5.1 ~ 2024.3.31) 情報化施工に関する研究	佐田達典 (代表)
三井住建道路株式会社 (2023.4.1 ~ 2024.3.31) 道路地盤に関する研究	峯岸邦夫
日鉄エンジニアリング株式会社 (2023.4.1 ~ 2024.3.31) 溶融スラグの地盤改良材への適用に関する研究	峯岸邦夫 (代表)、山中光一
太平洋プレコン工業株式会社 (2023.4.1 ~ 2024.3.31) ブロック系舗装における小型 FWD の適用	峯岸邦夫 (代表)、山中光一
トーニチコンサルタント (共同研究) (2023.6.9 ~ 2024.3.31) 複合構造物に関する設計法の研究	谷口 望 (代表)
日本交通技術 (共同研究) (2023.6.9 ~ 2024.3.31) 鋼鉄道構造物に関する研究	谷口 望 (代表)
復建エンジニアリング (共同研究) (2023.6.16 ~ 2024.3.31) トンネル立坑の設計手法に関する研究	谷口 望 (代表)
宮地エンジニアリング (寄付金) (2023.5.26) 「土木鋼構造物に関する研究開発」支援のため	谷口 望 (代表)
(一社)日本鉄鋼連盟 (寄付金) (2023.4.29) 関東東北地区鋼構造ネットワーク活動助成金	谷口 望 (代表)
名古屋電機工業株式会社 (2023.9.1 ~ 2024.2.29) 新興国における交通解析	石坂哲宏 (代表)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 (2023.11.15 ~ 2024.1.31) 三島市周辺自動運転実証事業における社会受容性調査分析	石坂哲宏 (代表)、藤井敬宏

アジア航測株式会社 (2022.9.12 ~ 2024.9.12) 空間情報技術の生成における高度化および効率化	江守 央 (代表)
株式会社ドーコン (2023.12.12 ~ 2024.12.12) CLAS を用いた低速移動体の挙動計測に関する研究	江守 央 (代表)
前田道路株式会社 (2023.1.27 ~ 2024.3.31) 道路工学および交通工学の研究	齊藤準平 (代表)
前田道路株式会社 (2024.1.26 ~ 2025.3.31) 道路工学および交通工学の研究	齊藤準平 (代表)
三井住建道路 (2023.4.1 ~ 2024.3.31) 交通基盤に関する研究	齊藤準平 (代表)

受賞	2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31
賞 (受賞年月)	教員名
日本環境共生学会／優秀発表賞 過疎地域における住民主体の送迎システム導入の可能性に関する研究—福島県三島町を対象として— (2023.6)	伊東英幸
日本環境共生学会／著述賞 「野生動物とロードキル」(共著) (2023.9)	伊東英幸
日本環境共生学会／奨励賞 東南アジア諸国における都市洪水の発生に対する適応策の評価に関する研究—主にアクティビティの変化に着目して— (2023.9)	積田典泰

令和 5 年度 学生の受賞等 2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31	
主催者／賞などの内容 (受賞年月)	受賞者氏名 (研究室)
日本鉄鋼連盟鋼構造を語る会／第 2 回鋼構造を語る会鉄鋼連盟特別賞「プレゼンテーション賞」 鋼構造の特性をこれからどう生かすか (2023.9)	菅野允陽 (鉄道構造研究室)
日本鉄鋼連盟鋼構造を語る会／第 2 回鋼構造を語る会鉄鋼連盟特別賞「プレゼンテーション賞」 鋼構造の特性をこれからどう生かすか (2023.9)	田中寛昌 (鉄道構造研究室)
ATRANS / The 16th ATRANS Annual Conference Young Researcher's Forum Best Paper Presentation Award Survey of speed humps and bumps in Bangkok and analysis of effects by probe data (2023.9)	酒井大翔 (交通システム研究室)
日本大学理工学部／令和 5 年度第 67 回理工学部学術講演会優秀発表賞 バリアチェックを想定したモバイル端末 LiDAR を用いた傾斜部の再現精度の検証 (2023.11)	中村祐太 (空間情報研究室)
日本大学理工学部／令和 5 年度第 67 回理工学部学術講演会優秀発表賞 (ポスター発表) 歩行者空間での位置計測を想定した低コスト GNSS 受信機の性能評価 (2023.11)	井上義仁 (空間情報研究室)
いすみ鉄道株式会社／感謝状 いすみ鉄道災害復旧応援活動に対して (2024.1)	運輸交通計画研究室・鉄道研究会
日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター (NU-CAR) 第 4 回学生研究発表会／優秀研究発表賞 プリンス・オブ・ソクラ大学内のラウンドアバウトにおける車両の走行軌跡を用いた安全性の分析 (2024.2)	荒川翔吾 (交通システム研究室)
(公社)土木学会関東支部第 51 回技術研究発表会／優秀発表者賞 ドライビングシミュレーターを用いた道路冠水情報提供時の運転挙動の解析 (2024.3)	清水敬仁 (交通システム研究室)

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

■ スポーツ大会

佐田達典、福田 敦、江守 央（3年生担任）

2023年12月2日（土）に学科スポーツ大会を実施しました。3年生の幹事が中心となり、「新しいつながりを作る」「楽しく体と脳を動かす」をコンセプトに企画してくれました。1年から4年生・大学院生の幹事にも声掛けをして、実施準備を行ってくれました。競技は日程の都合で体育館とメイングラウンドが使用できなかったため、フットサル、テニスと急遽、eスポーツと写真大会という、例年にない競技を盛り込んで実施しました。さらに、大会終了後の懇親会も久しぶりに開催し、こちらも3年生の幹事が中心となり盛り上がる演出を工夫してくれました。全参加者はおおよそ150名ほどだったかと思います。一部ハプニングもありましたが、短い期間での企画運営にもかかわらず滞りなく進んだと思います。来年度以降も継続的に開催されることを願います。



スポーツ大会開会式の様子



初めて試みたeスポーツ開催の様子

■ 「インターンシップ報告会」と就職活動・キャリア形成支援の報告

佐田達典、福田 敦、江守 央（3年生担任）

交通システム工学科では、設置科目の「キャリアデザイン」を中心に、次年度の就職活動を控えた学生はさまざまなキャリア形成への取り組みを行っていきます。6月頃からは本格的に「インターンシップ」の応募が始まるため、これに向けたビジネスマナーやエントリーシートの書き方、業界研究を進めていきます。授業ではインターンシップを推奨して、可能であれば数日間携わる業界関係企業への応募ならびに実施を勧めています。

インターンシップはおおむね夏休み期間に行われるた



キャリアアップの講演の様子



わだちの会主催就職応援ミーティングの様子

め、後期にこの活動をまとめて、特に下級生へ向けた情報提供として「インターンシップ報告会」を実施しました。本年度は2023年11月11日（土）の午前中に、おおむね3年生の半数が報告を行いました。各自が作成した報告A1サイズポスターを掲示してポスター発表形式でしたが、積極的に報告を行う学生の姿が印象的でした。日頃の学業では経験できないような、社会と密接に関係した業務の一部を見ることや携わることで、より今後のキャリアを考える力が身についたのではないかと思います。

このような授業の一環の活動だけではなく、当学科では卒業生からの支援も充実してきており、2023年11月11日（土）に開催した「キャリアアップミーティング」では、株式会社バスコ、京急建設株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、八千代エンジニアリング株式会社、東海旅客鉄道株式会社、UR都市機構、首都高速道路株式会社、一般財団法人国土技術研究センター、船橋市役所から若手を中心とした卒業生がそれぞれお越しになり、業界についてお話いただきました。また、日頃から同じキャンパスで過ごす大学院博士前期課程2年生からも、大学院進学ならびに国家公務員への展望と情報提供をいただきました。

2023年12月9日（土）には、約8,000名からなる当学科の同窓会「わだちの会」の協力を得て、船橋キャンパス14号館製図室にて70社を超える企業および組織から会社説明をいただきました。懇親会にも数多くの卒業生に参加していただき、現役学生には大変な刺激になったのではないかと思います。現在、多くの3年生が就職活動やこれに伴うインターンシップ、ならびに公務員試験に向けた準備を行っていると思いますが、卒業生の方々には、キャリア形成および自己分析に役立つ会が実施できたことをこの場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

■ 令和5年度卒業研究発表会

谷口 望、石坂哲宏、関口 穂（4年生担任）

令和5年度卒業研究発表会が、2024年2月3日（土）に船橋キャンパス12号館にて開催されました。本年度は、120件（発表者125名）の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生などの他学年に加え、保護者の方や研究にご協力いただいた企業の方々にもご参加いただきました。

卒業研究発表会では、自身が1年間かけて実施した研究を8分という短い時間でまとめて発表する必要があります。そのため、研究の背景や目的を簡潔に説明し、目的を達成するための研究方法を展開し、調査・実験・分析の結果を踏まえた考察などを発表スライドの中に論理的に構成しなければなりません。そこには、4年間で自身が習得した知識、技術を総動員するだけでなく、他の卒研究生との討議や発表練習の中で得られたことも活かして、発表してくれたと言えます。また、発表会と前後して1月27日（土）に概要提出、2月13日（火）に本論提出を実施しました。卒業研究を通して習得したことが、今後の仕事や人生のさまざまな場面で活かされることを担任として期待しています。



■ 令和5年度修士論文最終審査会

峯岸邦夫（大学院担任）

令和5年度大学院博士前期課程2年生の修士論文最終審査会を、2024年2月21日（水）10時より船橋キャンパス13号館1326教室で開催しました。本年度は、開催日が学部の追試験期間と重複していたため、大教室での開催となりました。

発表10分、質疑応答10分と、中間審査に比べるとそれぞれの時間が短縮されましたが、発表者は2年間研究を進めてきた集大成である修士論文の内容を要領よくコンパクトにまとめて発表していました。発表者の中には、緊張して



時間を若干超過する者もいましたが、大方10分以内で発表していました。また、質疑応答についても、要点をまとめてしっかりと的確に回答していました。

13名全員の発表および質疑応答が終了した後、大学院特別研究の指導教員による審査が行われた結果、全員が合格となり、3月25日（月）に修士（工学）の学位が授与されました。なお、修士論文の各題目は本号8ページをご覧ください。

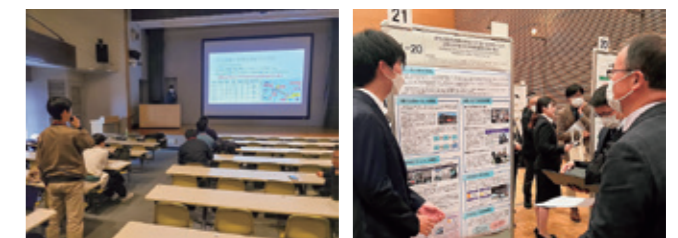
本年度の大学院生は、学部時代の卒業研究発表会は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインのみの発表でしたが、大学院進学後、学外への論文投稿や口頭発表が2編以上という修士論文提出の条件（審査基準）に適合するために積極的に学外での発表を行ってきたためか、審査会では堂々と発表して2年間の成長を見ることができました。

4月からはそれぞれの道に進みますが、今後の大いなる活躍を心から願っています。

■ 交通まちづくり工房活動報告

吉岡慶祐

本年度の交通まちづくり工房は、「鋼橋プロジェクト」が本格始動し、5つのプロジェクトの体制となりました。年間を通して、各プロジェクトが学生主体でフィールドワーク、地域のイベントへの参加、コンテストや大会への出場、学術講演会での発表などの活動に精力的に取り組みました。2024年2月22日（木）には「交通まちづくり工房サミット」を開催し、各プロジェクトの本年度の活動が報告され、学生・教員から、来年度に向けての活発な意見交換が行われました。



■ 本専攻および本学科の学生が「東京ブリッジサポーター」の認定証を取得

鉄道構造研究室所属の博士前期課程1年生・田中寛昌さんと、交通まちづくり工房・鋼橋プロジェクト所属の2年生・諏訪喬祐さん、小松崎岳さん、1年生・田中胡桃さんの4名が、『東京ブリッジサポーター』の認定証を取得しました。「東京ブリッジサポーター」は、公益財団法人東京都道路整備保全公社が認定し、管理者と協働して橋梁等の公共インフラを見守るボランティア活動を行うための資格になります。資格認定を受けた本学生は、交通システム工学科や交通まちづくり工房で学習した基礎知識を活かし、安全・快適な公共インフラを維持するためのボランティア活動を通じて社会貢献を行っていきます。



■ 学科学生懇談会

下川澄雄、石坂哲宏、江守 央、吉岡慶祐 (JABEE 担当)

2024年2月13日(火)に、令和5年度学科学生懇談会を実施しました。本懇談会は、継続的な教育改善に向けた活動の一環として隔年で開催しているもので、学科の教育システムを学生の皆さんに知っていただくとともに、学生にも議論に加わってもらい、相互に理解を深めることを目的として実施しています。本年度は20名の学生に参加いただき、日頃のレポート課題へのフィードバックや、授業アンケートを踏まえた改善について、議論をしました。



■ 受賞報告

日本鉄鋼連盟土木鋼構造研究ネットワーク(関東・東北地区)のグループワークにて「プレゼンテーション賞」および「日本鉄鋼連盟特別賞」を受賞

2023年9月20日(水)に日本鉄鋼連盟・土木鋼構造研究ネットワーク(関東・東北地区)主催の第2回鋼構造を語る会が開催されました。このグループワークにおいて、交通システム工学専攻博士前期課程1年生の田中寛昌さんが「プレゼンテーション賞」を、同じく交通システム工学専攻博士前期課程1年生の菅野允陽さんが「プレゼンテーション賞」および「日本鉄鋼連盟特別賞」を受賞しました。グループワークのテーマは「鋼構造の特性をこれからどう活かすか?」で、他大学の学生たちと活発な議論が行われ、その積極的な活動が評価されました。



■ 事務局からのお知らせ

吹く風にも春の爽やかさが感じられるようになりました。夢と希望を胸いっぱいにして新しいスタートを迎えていることと思います。楽しく、有意義な学生生活が過ごせたらいいですね。

事務室では皆さんの学生生活のサポートを行っており、就職・進学・その他の資料も閲覧できるようになっております。また、就職活動、特に公務員志望の方のための参考書や問題集の貸し出しもしています。ぜひ活用してください。気軽に学科事務室に足を運んでください。

事務室案内

事務取扱時間	月曜日～金曜日 9:30～13:00、14:00～16:00
場所	7号館2階7214室 ※入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身につけて来てください。

令和5年度 就職状況

4年生担任 谷口 望、石坂哲宏、関口 穂

令和5年度の学部卒業見込み者は123名、大学院の博士前期課程修了予定者は14名、合計137名に対して、就職を希望しない学生(学部6名、大学院1名)を除くと、ほとんどの学生の進路が決定しました。

本年度の就職活動は、昨年と同様に3月1日より開始となりました。昨年と同様、前半に内定が多く出ており、6月には学部、大学院ともに内定率が60%以上となりました。

内定状況は、業種別にみても、「建設業」が27%、「運輸業」が25%、「複合サービス業」が19%と上位を占めている状況でありおおむね例年通りの結果となりました。また、運輸業が昨年(15%)と比較し、増加傾向を示し、地方公務員と大学院進学は昨年(地方公務員10%、大学院進学13%)と比較し、若干減少傾向を示しました。

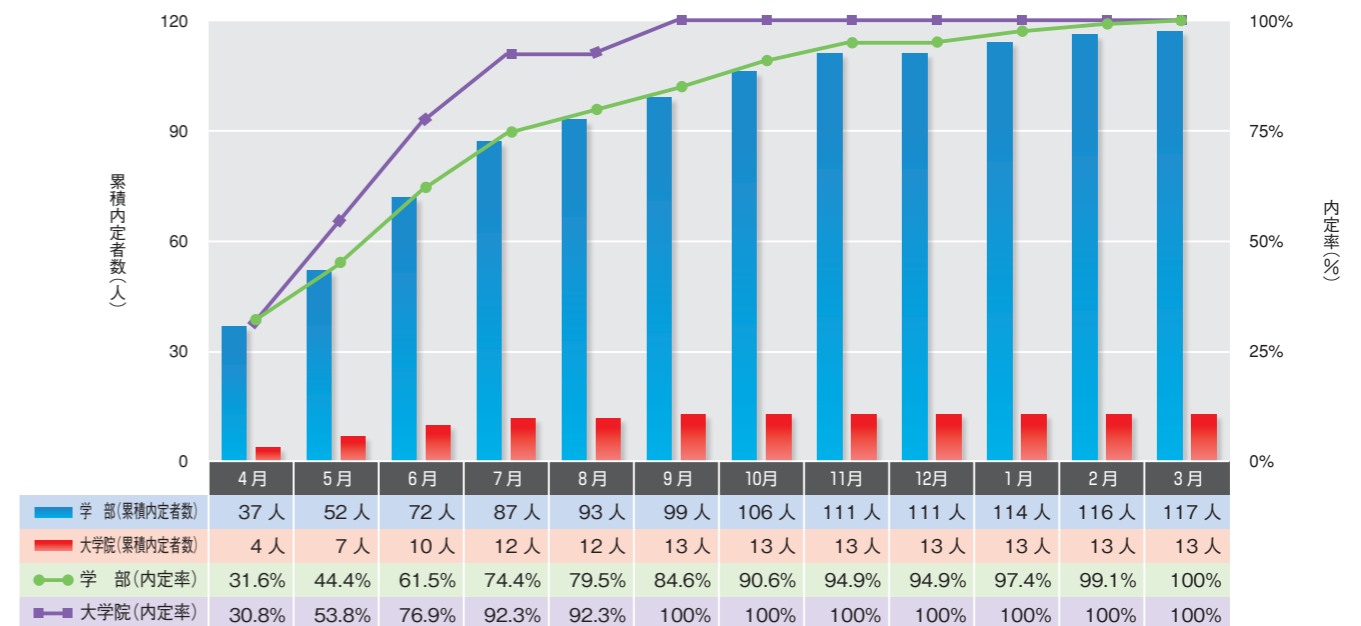


図-1 学部・大学院の内定者の推移

就職先業種別内定人数

内定先業種	大学院(人)	学部(人)
建設業	0	33
運輸業	3	31
国家公務員	1	3
地方公務員	0	7
大学院・進学・研究生	0	10
情報サービス業	0	0
複合サービス業	8	23
一般機械器具製造業	0	0
学校教育	0	0
通信業	0	2
その他	1	8
就職を希望しない・帰国	1	6
合計	14	123

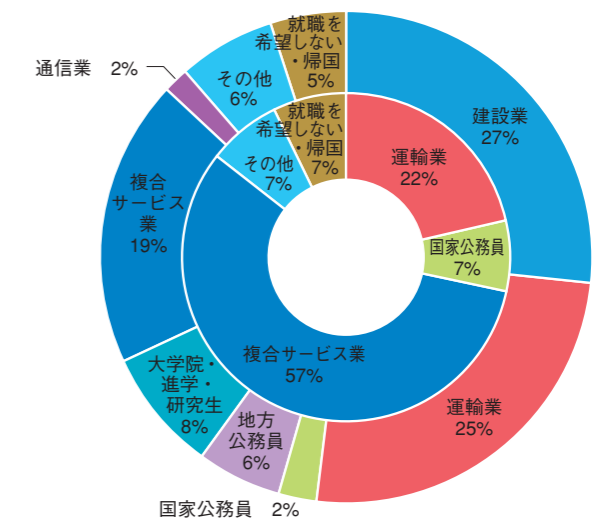


図-2 就職先業種別割合(内:大学院、外:学部)



人の暮らしを支える 物流と2024年問題

小早川 悟
教授

1. 物流の2024年問題とは？

物流は、人々の暮らしを支える重要なインフラ（社会基盤）のひとつです。しかし、都市計画や交通計画の中では、どうしても人の移動（旅客流動）を中心に議論が行われてしまい、物の移動（物資流動）の議論は後回しにされてしまいます。しかし、コロナ禍を経て、人の移動が減少してこなかで、ネットショッピング等による物の移動が重要視され始めています。さらに、2024年1月に発生した能登半島地震では、支援物資の輸送に問題が発生し、物流の重要性を再認識させられました。そのようななか、現在、物流の分野で問題となっているのが2024年問題です。

物流の2024年問題とは、「働き方改革関連法」に基づき、2024年4月よりトラックドライバーの時間外労働が年960時間の上限規制が適用されることになり、ドライバーの労働時間が短くなることで物流を支えるドライバーが大幅に不足し、物が運べなくなる問題のことを指します。何も対策を講じなければ、2024年度には14%、2030年度には34%の輸送力が不足する可能性があるといわれています。

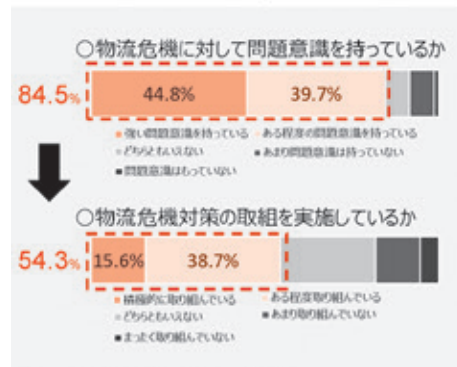
2. 2024問題に向けて何が必要か？

経済産業省が実施した「持続可能な物流の実現に向けた検討会」の資料によると、物流

危機に対して問題意識を持っている事業者は8割ある一方で、取り組みを実施しているのは5割にとどまっているというアンケート結果があります。つまり、事業者は危機意識を持っているが、対策は採っていないということになります。

では、なぜ対策が進まないのかを考えてみると、この問題は物流事業者だけで解決していくことが難しいということを表しているといえます。物流事業者の顧客は、荷主になります。荷主とは、荷物の輸送を物流業者に依頼している依頼主であり、荷物の出し手を「発荷主」、受け取り手を「着荷主」と呼びます。物流事業者は、荷主からの時間指定や輸送料金の交渉に弱い立場にあります。そのため、安い料金で直ちに届けなければならないという厳しい条件下での仕事が続いてきました。そのため、トラックドライバーの労働条件が悪化し、今回の時間外労働の規制につながっています。よって、このような状況を改善するためには、私たちも含めた荷主の行動変容が求められています。具体的には、再配達削減を減らすための荷物の受け取り方法の変

物流危機に対する問題意識と取り組み状況
(回答事業者：1,707社)



出典：第7回持続可能な物流の革新に関する関係閣僚会議資料



出典：内閣府、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議（物流革新緊急パッケージ）

更や時間帯指定の緩和などが必要とされています。

なお、岸田文雄首相は2023年10月に関係閣僚会議を開き、「物流革新緊急パッケージ」を取りまとめました。その内容は、①物流の効率化、②荷主・消費者の行動変容、③商慣行の見直し、の大きく3つの項目にまとめられています。詳細は、内閣府のHP(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/buturyu_kakushin/pdf/kinkyu_package_1006.pdf)に掲載されていますので、閲覧してみてください。

編集後記

この1年で大学は授業形態が完全に対面授業に戻りました。教員や学生の活動も、本号に掲載されたように学会や出張がコロナ禍の前と同じような頻度に戻りました。対面による授業や演習・実験、学会での他の研究者や学生同士の交流などを見ると、人と対面で何かをするというのはこんなにもいいものなのかと実感した1年でした。ただ、電車や人ごみの中ではマスクを着けるくせだけは、コロナ禍が明けても、なかなか抜けないのはなぜだろう。（齊藤）

ブリテン64号（年報号）の発行にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。年報号は教員・研究室の1年間の研究活動・社会活動等を取りまとめ、皆様に知っていただくことを目的として作成しています。それと同時に、我々教員にとっても1年間の活動を客観的に振り返る良い機会になっています。

また、前半では新年度の研究室体制を紹介しています。これから研究室に配属となる在学生の皆さんには、研究室の活動をよく知り、研究室選択をするための資料として参考にしていただきたいと思います。本年度も交通ブリテンをよろしく願います。（吉岡）

久しぶりに対面での学会発表や交流などをして、コロナ禍前に戻ってきたなと実感できた1年でした。私自身も国内外で発表を行い、学外の多く先生とも実際に直接お会いし、活発な議論をすることができました。また、コロナ禍ではできなかった海外出張もでき、現地に足を運んでいろいろな方の話を直接聞いたり見たりすることができて、その重要性を再認識しました。皆さんもこれをきっかけに、ぜひコロナ禍に行きたいと思った場所に足を運んでみてはいかがでしょうか。（積田）